

ドッグ ナビ

Dog Navi

取扱説明書

狩猟者端末 **型式** HT-01 (通称：親機)
Ver.2

Dog Navi をお買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読み
ください。
本書は、必要な時に参照できるよう大切に保管してください。

お取扱店様へ
この取扱説明書は、必ずお客様へお渡しください。

ご注意！

本機器は国内無線規格(150MHz特定小電力無線)
に準拠しております。

国外で使用することはできません。

目次

第1章	Dog Naviシステムとは	1
1.1.	地形と無線の到達距離	2
第2章	内容物の確認	3
2.1.	本体	3
2.2.	高性能アンテナセット	4
第3章	各部の名称と機能	5
第4章	ご使用になるまで	6
4.1.	子機登録操作	6
4.2.	充電方法	7
4.3.	狩猟の開始	8
第5章	親機の操作	9
5.1.	電源ONの方法	9
5.2.	電源OFFの方法	9
5.3.	起動時の操作	9
第6章	地図画面	10
6.1.	アイコン等の説明	10
6.2.	犬アイコンの説明	10
6.3.	コンパスアイコンの説明	11
6.4.	押しボタンの機能説明	11
6.5.	地図画面上での操作	12
第7章	一覧表示画面	15
第8章	詳細情報表示画面	18
第9章	中継機能	19
9.1.	操作方法	19
9.2.	中継機能詳細	20
第10章	探索モード	22
10.1.	操作方法	22
第11章	メニュー構成	23
第12章	操作方法	25
12.1.	メニューの操作	25
12.2.	狩猟メニュー操作	25
12.3.	マーク登録	25
12.4.	マーク検索／編集	27
12.4.1.	マーク一覧	27
12.4.1.1.	地図上で表示	28
12.4.1.2.	案内開始	28
12.4.1.3.	編集	28
12.4.1.4.	削除	28

12.4.2.	マーク検索	29
12.4.3.	マーク名表示／非表示	30
12.4.4.	マーク情報バックアップ	31
12.4.5.	マーク情報取込	31
12.4.6.	マーク一括削除	32
12.5.	地図設定	32
12.5.1.	地図の向き	33
12.5.2.	地図選択	33
12.5.3.	鳥獣保護区等設定	33
12.6.	軌跡設定	34
12.6.1.	軌跡表示／非表示設定	34
12.6.2.	軌跡表示時間設定	35
12.6.2.1.	軌跡表示時間設定(親機)	35
12.6.2.2.	軌跡表示時間設定(子機)	36
12.6.3.	軌跡クリア	36
12.7.	バックライト照度調整	37
12.8.	設定	37
12.8.1.	システム設定	38
12.8.1.1.	メイン機／サブ機設定	38
12.8.1.2.	中継設定	39
12.8.1.2.1.	詳細設定(中継機能)	39
12.8.1.3.	探索モード設定	40
12.8.1.4.	スリープ時間調整	41
12.8.1.5.	バッテリー節約	41
12.8.1.6.	充電モード	41
12.8.1.7.	一覧表示件数	42
12.8.1.8.	バックアップ／復元	42
12.8.2.	迷い犬アイコン消去	43
12.8.3.	システム情報表示	43
12.8.4.	親機設定	45
12.8.4.1.	通信設定	45
12.8.4.1.1.	通信チャンネル(周波数)	45
12.8.4.1.2.	音声チャンネル	46
12.8.4.1.3.	通信間隔	48
12.8.4.1.4.	パスワード設定	48
12.8.4.2.	受話音量設定	49
12.8.4.3.	音声間欠設定	49
12.8.4.4.	色設定	49

目次





12.8.5.	子機設定	50
12.8.5.1.	子機登録	50
12.8.5.2.	子機編集	51
12.8.5.2.1.	通信チャンネル(周波数)(子機)	51
12.8.5.2.2.	犬の名前	51
12.8.5.2.2.1.	犬の名前入力	52
12.8.5.2.3.	色設定	53
12.8.5.2.3.1.	色選択画面	53
12.8.5.2.4.	表示順変更	53
12.8.5.3.	子機削除	54
12.8.5.4.	犬の名前送信	54
12.8.6.	アイコン設定	55
12.8.7.	警告設定	56
12.8.8.	ツール	57
12.8.8.1.	軌跡データ作成/表示	57
12.8.8.1.1.	軌跡データの作成	57
12.8.8.1.2.	軌跡データの表示	58
12.8.8.2.	日の出/日の入り時刻	58
12.8.8.3.	チャンネルスキャン	58
12.8.8.4.	自己診断	59
12.8.8.5.	アップデート	59
12.8.8.6.	データ削除	60
12.8.8.7.	子機バージョン確認	60
12.8.8.8.	GPSリセット	60
12.8.8.9.	電波送信OFFモード	61
12.9.	パソコンとの接続方法	62
第13章	お手入れ	63
第14章	付属品の取り扱い	64
14.1.	ストラップの交換	64
14.2.	アンテナの交換	65
14.3.	ラジアル線、変換コネクタ、及びアンテナの取り付け方	66
14.4.	ラジアル線、変換コネクタ、及びアンテナの取り外し方	66
第15章	困った時は	67
15.1.	操作に迷った時は	67
15.2.	動作が不安定な時は	67
15.3.	方位が正しくない時は	68
15.4.	不要になった際にはリサイクルへ	68
15.5.	充電が開始されない	68


第16章	著作権等	69
16.1.	本製品に使用されているソフトウェアについて	69
16.2.	地図	69
16.2.1.	著作権	69
16.2.2.	使用許諾	69
16.2.3.	制限事項	69
16.2.4.	免責事項	69
16.2.5.	使用承認番号	70
16.3.	イラスト等	70
16.4.	商標について	70
製品仕様		71
Q&A		72
保証書とアフターサービス		75

安全にお使いいただくために

本機器は、正しく取り扱うことにより安全にお使いいただけます。間違った使い方は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、記載された注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

この取扱説明書では、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

 警告	この表示を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
 注意	この表示を守らなかった場合、けがをしたり物的な損害を受けたりする可能性があることを示します。
 アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
 禁止	してはならないことを示します。

 警告	
銃の暴発につながるような無理な体勢で操作をしないでください。	
本製品の位置情報や方位情報はあくまで補助機能として使用してください。本製品の位置情報や方位が明らかに間違っていると判断した場合は、本機器の情報に頼ることは止め、他の手段で位置及び方位を判断するようにしてください。なお、発砲についてはご自身の判断で行ってください。	
本製品の地図情報や地形情報はあくまで補助機能として使用してください。険しい崖や谷など危険な場所をご自身の目で確認しながら行動してください。	
車の運転中に操作したり、表示部を注視したりしないでください。本製品を操作、または表示部を注視する場合は、安全な場所に自動車を停車させてから行ってください。	
ご使用中に本製品から煙が出たり、本製品が異常な高温になった場合には、電源を切り使用を中止してください。 また、充電中の場合は、充電アダプタをACコンセントから抜いてください。 煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にお問い合わせください。	
心臓ペースメーカーを装着した人の近くでは使用しないでください。本機が発信する電波がペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。	



注意

本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。

技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますのでご注意ください。

上空、および海上で運用をされますと、無線局登録状の範囲を超えた運用となり、罰せられる場合がありますのでご注意ください。

パソコン(PC)に接続する時は、充電モードをPC接続モード(500mA)に切り替えてから接続してください。

乳幼児の手の届く場所に放置しないようにご注意ください。

他の無線機の近くで使用すると、壊れたり、性能が劣化する場合がありますのでご注意ください。



禁止

本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。ご自分で分解や改造をしないでください。

他局の通信妨害や、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは固く禁じられています。

本製品は、電波法施行規則第6条に規定される特定小電力無線局のうち、電波を利用した動物の検知通報システム(国内において主として動物の行動及び状態に関する情報の通報又は付随する制御をするための無線通信を行うものをいう。)を目的とする情報の伝達又は処理された情報の伝送を行う無線設備について規定したものです。よって、これ以外の目的で使用しないでください。

本製品を野山や湖池などに不法投棄しないでください。不要になった場合は販売店へお渡しください。

安全にお使いいただくために

⊘ 禁止

火気の近くで使用したり放置しないでください。また、ドライヤーや温風機などの熱風が当たらない場所で使用、保存してください。

自動車のダッシュボードの上等、直射日光があたる場所に長時間放置しないでください。

本製品に強い衝撃を加えないようにご注意ください。ケースの破損や故障の原因となります。

充電アダプタや充電ケーブルは指定のものを使用してください。また、充電アダプタや充電ケーブルを加工しないでください。火災、発熱、感電、故障の原因となります。

充電アダプタを水で濡らさないでください。また、充電アダプタが濡れている時は使用しないでください。火災、発熱、感電、故障の原因となります。

充電ケーブルを傷つけたり強い力で挟んだりしないでください。また、そのようなケーブルを使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

充電アダプタのコネクタ部、及び充電ケーブルのコネクタ部に金属類を差し込まないでください。火災、発熱、感電、故障の原因となります。

充電アダプタをコンセントに差したままで、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。感電やけがの原因となります。

ぬれた手で充電アダプタや充電ケーブルを触らないでください。感電の恐れがあります。

電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因となります。

本体の充電ジャックや、充電コネクタが濡れた状態で充電しないでください。感電や故障、錆の原因となります。

禁止

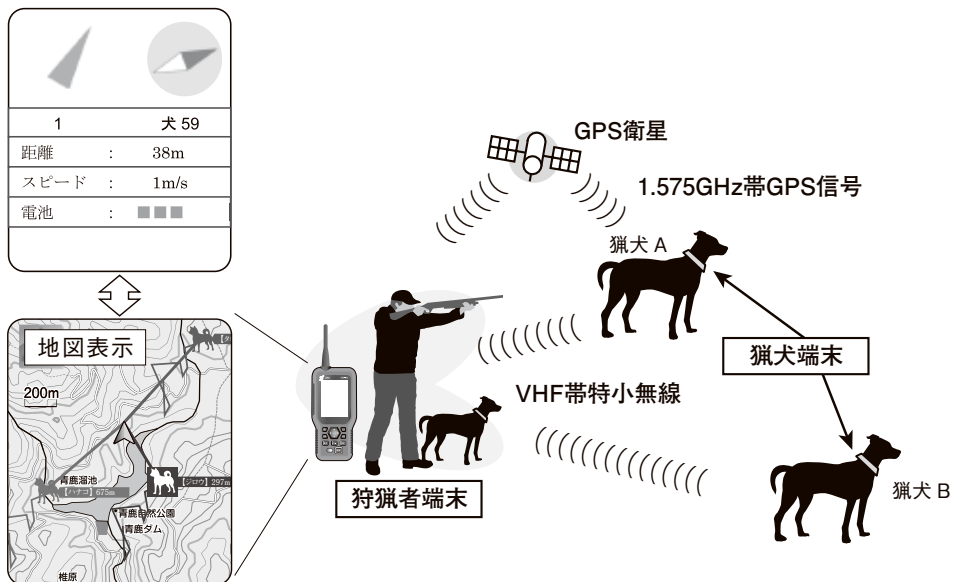
本製品はJIS保護等級IPX5相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。次のような使い方は、防水性能を維持できませんので、行わないでください。

- ・製品を水中や水溜り等に浸けたとき。
- ・落下など外的衝撃による、樹脂変形、歪み、ひび割れや、防水膜の破れ、コネクタパッキンの破損、薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき。
- ・アンテナを取り外したとき。
- ・長時間、高い水圧を掛けたとき。
- ・蛇口からの水や湯を直接当てたとき。
- ・使用温度範囲からはずれた温度で使用したとき。

本製品を電池残量が少ない状態で6カ月以上保管しないでください。電池残量が少ない場合、再充電ができなくなる場合があります。長期間保管する場合は、充電を行った後、保管してください。

第1章 Dog Naviシステムとは

本システムは、狩猟時において猟犬の位置を把握することを目的としたシステムです。猟犬に装着した「猟犬端末DG-01 (通称:子機)」と狩猟者が持つ「狩猟者端末HT-01 (通称:親機)」で構成されており、猟犬の位置及び鳴き声を狩猟者に知らせる機能を持ちます。システムの概要を下図に示します。



1.1. 地形と無線の到達距離

地形によって、無線の到達距離に違いが発生します。

図1～図3のような代表的な地形における電波の到達距離は、図1の狩猟者と犬との間に高低差がある例が最良であり、図2の狩猟者と犬が同じ高さの例が良い状態、図3の狩猟者と犬の間に遮蔽物がある例が悪い状態となります。

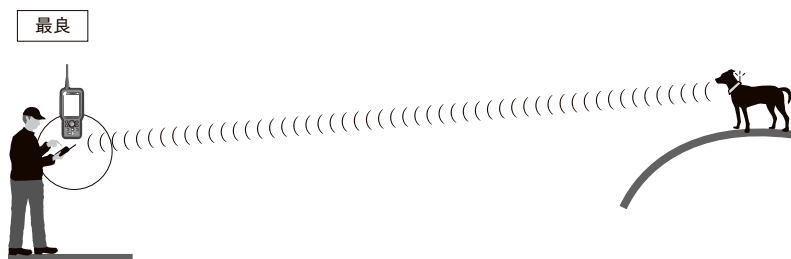


図1



図2

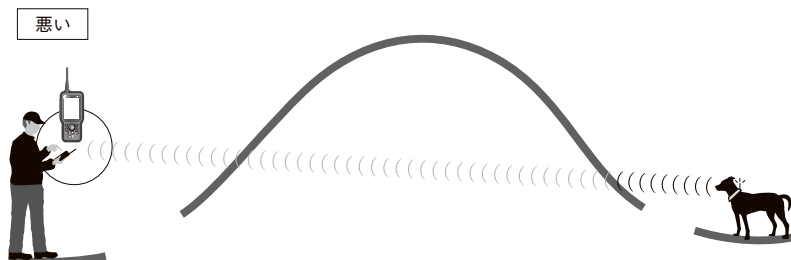


図3

第2章 内容物の確認


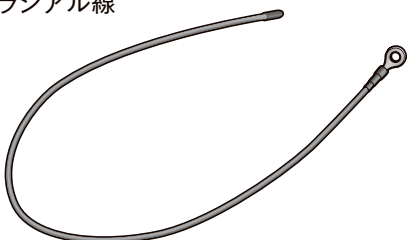
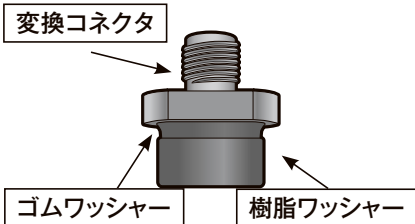
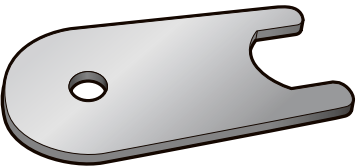

2.1. 本体

No	内容物	個数
1	親機本体 (狩猟者端末)	1
2	標準アンテナ	1
3	親機専用ACアダプタ	1
4	充電ケーブル	1
5	ストラップ	1
6	取扱説明書	1

<p>1. 親機本体</p> 	<p>2. 標準アンテナ</p> 
<p>3. 親機専用ACアダプタ</p> 	<p>4. 充電ケーブル</p> 
<p>5. ストラップ</p> 	<p>6. 取扱説明書</p> 

2.2. 高性能アンテナセット

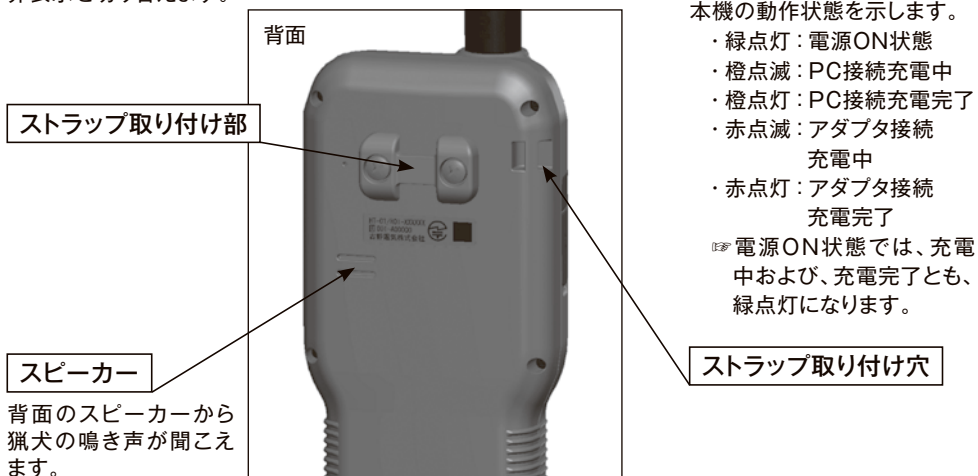
No	内容物	個数
1	ロングアンテナ	1
2	ラジアル線	1
3	変換コネクタ (ゴムワッシャーと樹脂ワッシャー付き)	1
4	スパナ	1
5	高性能アンテナ取扱説明書	1

<p>1. ロングアンテナ</p> 	<p>2. ラジアル線</p> 
<p>3. 変換コネクタ</p> 	<p>4. スパナ</p> 
<p>5. 高性能アンテナ取扱説明書</p> 	

☞ 変換コネクタに貼り付けられているゴムワッシャーと樹脂ワッシャーが外れた場合は、上図のように組み合わせた状態で、『ラジアル線、変換コネクタ、及びアンテナの取り付け方』(☞ 66ページ)の手順に沿って親機に取り付けてください。両面テープが外れたとしても、機能・性能には影響ありません。

☞ 変換コネクタはメーカー出荷段階ですでに取り付けられています。

第3章 各部の名称と機能



第4章 ご使用になるまで

■ 機器がお手元に届いてからご使用になるまで

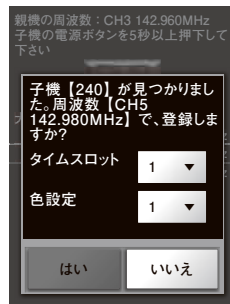
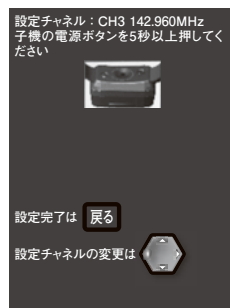
- 充電を行ってください。(『充電方法』(☞7ページ)を参照してください。)
- 子機登録操作を行って親機に子機を登録してください。
(☞このページの『子機登録操作』を参照してください。)
- 『狩猟の開始』(☞8ページ)に従って、狩猟を開始してください。

4.1. 子機登録操作

販売店などで既に子機登録操作が完了している場合もあります。子機登録操作が完了している場合は以下の操作は不要です。

- ① 親機の電源を入れます。
LEDランプが緑色に点灯し、表示部の中央に「FURUNO」と表示されます。しばらく(約30秒)待つと『GPSを受信できる環境で使用してください。…』と表示されますので『決定』ボタンを押します。
- ② 通信周波数を決定します。
『メニューボタン』押す→『設定』→『親機設定』→『通信設定』→『通信チャンネル(周波数)』を開き、CH1～CH5の中から使用するチャンネル(周波数)を設定します。
☞CH1, CH3, CH5を設定することを推奨します。
- ③ 子機を登録します。
『メニューボタン』押す→『設定』→『子機設定』→『子機登録』画面を開きます。
以下の操作により、子機を登録モードにします。
登録する子機の電源がOFFの状態ですべて『電源』ボタンを5秒以上長押しすると、子機の電源ランプが青色に高速に点滅します。
表示部に『子機XXXが見つかりました。登録しますか?』と表示されますので、『はい』にカーソルを移動して『決定ボタン』を押します。
☞『タイムスロット』はそのままの値を設定してください。(Q&A)を参照してください。
- ④ 親機の表示部に『登録が完了しました。』と表示されると同時に、子機の青色LEDランプの点滅が消灯すると子機登録操作の完了です。
電波の障害などで、登録が成功しない場合があります。登録が成功しなかった場合は③からやり直してください。

子機が複数ある場合には、③～④の操作を繰り返します。



第4章 ご使用になるまで



子機を複数の親機に登録する事はできません。登録後に別の親機で登録した場合、前の親機とはつながらなくなります。

4.2. 充電方法

- ① 親機の電源をOFFにします。(ON状態でも充電可能ですが、満充電までの時間がかかります。)
- ② ACアダプタと充電ケーブルを接続します。(図1)
- ③ 親機の充電コネクタのコネクタバッキンを下から開けます。(図2)
- ④ 充電ケーブルのコネクタを、向きに注意して親機の充電コネクタに奥までしっかりと差し込みます。(図3)
- ⑤ ACアダプタのプラグをコンセントに奥までしっかりと差し込みます。
- ⑥ LEDランプが点滅すると充電を開始しています。点灯に変わると充電完了です。充電後、充電ケーブルのコネクタを親機の充電コネクタから抜き取り、バッキンを元の状態に戻るようにしっかりと押し込んでください。

☞ ACアダプタを接続して短時間で充電するには『充電モード』(☞41ページ)を『アダプタ接続(1000mA)』に設定してください。充電中、LEDランプは赤色に点滅して、完了後は点灯します。

☞ 充電ケーブルをACアダプタから外し、パソコンと接続することで、充電することも可能です。パソコンと接続する場合は、充電ケーブルをパソコンに接続する前に、『充電モード』を『PC接続(500mA)』に設定してください。充電中、LEDランプは橙色に点滅して、完了後は点灯します。

☞ 充電中は、通信性能の劣化や、一部機能の制限が発生する場合があります。その場合は、充電コネクタを抜いて使用することをお勧めします。

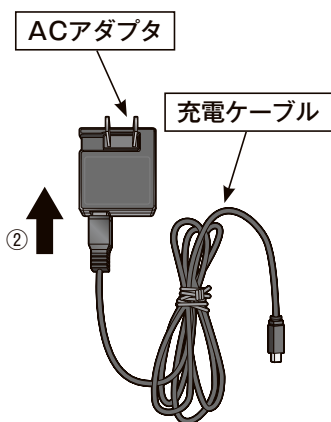


図1

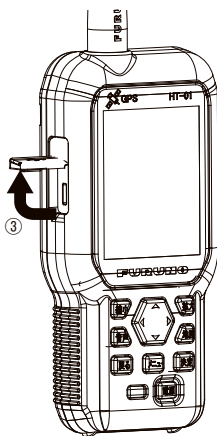


図2

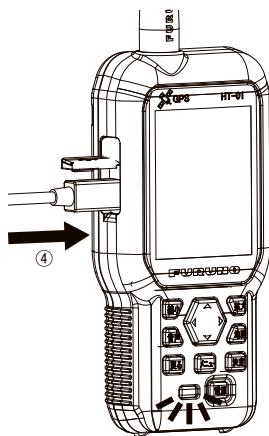


図3

4.3. 狩猟の開始

狩猟を開始する前に子機の登録を完了させてください。(6ページ参照)

☞ 子機登録操作は、ご購入時に実施してください。

子機の操作	親機の操作
<p>(<u>屋外の上空が開けた場所へ</u>) 移動し電源をONする</p> <p>『電源ボタン』を約1秒押す。 (LEDランプが点灯する。)*</p> <p>↓</p> <p>しばらく待つて(約1分程度)LEDランプが約5秒周期で点滅することを確認する。</p> <p>↓</p>	<p>(<u>屋外の上空が開けた場所へ</u>) 移動し電源をONする</p> <p>『電源ボタン』を約1秒押す。 (LEDランプが緑点灯する。)</p> <p>↓</p> <p>しばらく待つと表示部に『GPSを受信できる環境で使用してください。』と表示されますので、表示内容を確認のうえ『決定ボタン』を押す。</p> <p>↓</p> <p>画面左上のGPS受信アイコンの状態が受信状態(「圏外」でない状態)になることを確認する。</p> <p>↓</p> <p>犬のアイコンが地図上に表示される事を確認する。</p> <p>↓</p>
<p>通信可能</p>	
<p>以上で子機の準備完了です。</p> <p>↓</p> <p>犬を放してください。</p>	<p>以上で親機の準備完了です。</p> <p>↓</p> <p>操作方法に沿って操作を行ってください。</p>

*LEDランプ色は子機の取扱説明書「LEDランプの説明」を参照してください。

☞ 子機と親機の操作はどちらから行ってもいいですが、犬を放す前に、必ず親機に犬のアイコンが地図上に表示され、通信できていることを確認してください。

☞ 屋内ではGPSが受信できない場合や位置がずれる場合があるため、屋外にてご使用ください。

第5章 親機 の 操作

5.1. 電源ONの方法

親機の電源がOFFの状態ですべて『電源ボタン』を1秒程度押し続けるとLEDランプが緑点灯しますので、『電源ボタン』から指を放してください。しばらく待つと表示部に『FURUNO』の文字が表示され、親機が起動します。

5.2. 電源OFFの方法

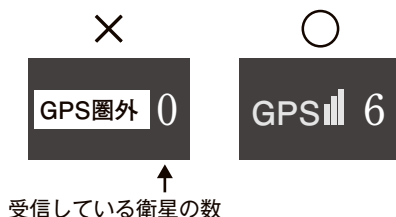
親機の電源がONの状態ですべて『電源ボタン』を2秒以上押し続けると表示部に『電源を切る』と表示されますので、『電源ボタン』から指を放してください。

しばらく待つと表示部の画面が消え、LEDランプも消灯し、親機の電源が切れます。

5.3. 起動時の操作

【重要】

本システムはGPSの時刻に同期して通信を行う方式を採用していますので、GPS衛星の電波を受信する必要があります。**電源をONする時には、屋外の上空が開けた場所へ移動し、画面左上のGPS受信アイコンが測位状態になるまでしばらくお待ちください。**



GPS受信アイコンの右に表示されている数字は電波を受信している衛星の数を示しています。この数字が4よりも大きくなる場所へ移動してください。

※ GPS衛星の数は多いほど良好な傾向がありますが、室内などの上空が開けていない場所では、GPS衛星の数が多くても、実際の位置と表示位置がずれることがあります。

親機起動時に『GPSを受信できる環境で使用してください。』のメッセージが表示されますので、内容を確認のうえ『決定ボタン』を押してください。

親機／子機ともにGPS衛星を受信し、位置を測位すると親機と子機の間で通信が開始され、表示部に犬のアイコンが表示されます。

第6章 地図画面

6.1. アイコン等の説明

音声受話アイコン/中継表示

音声受信アイコンは、犬の音声を受話中に点灯します。アイコンの右横に選択中の犬の名前が表示されます。
中継機能が有効な場合は『中継』と表示されます。

GPSアイコン

GPS衛星の測位状態を示します。右の数字は衛星の数を示しています。

コンパスアイコン

方位を示します。
次ページの『コンパスアイコンの説明』を参照。

親機軌跡

親機(自分)の位置を軌跡として表示します。

親機アイコン

親機(自分)の位置を示します。

子機軌跡

子機の位置を軌跡として表示します。

音量調節

スピーカから出力される音量を示します。

子機警報アイコン

子機の電池・GPS・電波途絶などの各アラームの警報が発生している事をお知らせします。各状態の詳細は、『一覧表示画面』(P.15ページ)でご確認ください。

システム時刻

現在時刻を表示しています。

バッテリーアイコン

本体の電池の残量を示します。

犬アイコン

犬の位置を示します。アイコンの横に犬の名前と距離が表示されます。
選択中の犬アイコンは反転表示されます。複数の子機が密集している場合、子機の名前、距離、密集している子機の台数が表示されます。
密集時、表示される子機の名前、距離は、親機から一番遠い子機の情報です。



地図画面において、『戻るボタン』を長押しすることで、軌跡の表示/非表示が切り替わります。それでも軌跡が表示されないときは、Q&Aを参照して下さい。

6.2 犬アイコンの説明



子機のバッテリー残量少ないことを示します。



子機との電波状況が悪いことを示します。



子機との電波が途絶したか、GPSが測位できなかったことを示します。

第6章 地図画面

6.3. コンパスアイコンの説明



精度良い



精度悪い



精度良い



精度悪い

地図が「ノースアップ」表示の時に、このアイコンが表示されます。

地図が「ヘディングアップ」表示の時に、このアイコンが表示されます。

方位センサーの精度が悪くなると、『精度悪い』の図のように、アイコンの周囲が「黄色」や「赤色」で表示されます。また、『精度良い』の図の状態であっても、磁気を帯びた物や金属の近く(車の中など)では精度が劣化することがあります。『精度悪い』の状態や、方位が正しくない場合は、『方位が正しくない時は』(P.68ページ)の手順を行ってください。

6.4. 押しボタンの機能説明

ボタン名称	短く押す	長く押す
縮小	地図が1段階縮小	地図が連続して縮小
拡大	地図が1段階拡大	地図が連続して拡大
音声	[地図と音声選択画面以外表示時] 犬アイコンを選択状態 [地図と音声選択画面表示時] 一覧表示画面へ移行 [音声モード中] 音声ミュート/復旧 切替	—
地図	地図画面に戻る。 現在地表示に戻る。	探索モード(22ページ参照)
戻る	一つ前の状態に戻る。	[地図表示時] 軌跡の表示/非表示 切替
メニュー	[地図画面から1回押す] 狩猟メニュー表示 [地図画面から2回押す] メインメニュー表示	操作ロック/ロック解除 切替
決定	選択項目の実行/決定	—
▲方向	地図の上方向移動	地図の上方向移動(大きく連続移動)
▼方向	地図の下方向移動	地図の下方向移動(大きく連続移動)
◀方向	地図の左方向移動	地図の左方向移動(大きく連続移動)
▶方向	地図の右方向移動	地図の右方向移動(大きく連続移動)

第6章 地図画面

音声受話中は以下の画面が表示されます。

『方向ボタン』の上下方向で音声聞く犬を変更(切替)することができます。『決定ボタン』を押すことにより音声が切り替わります。

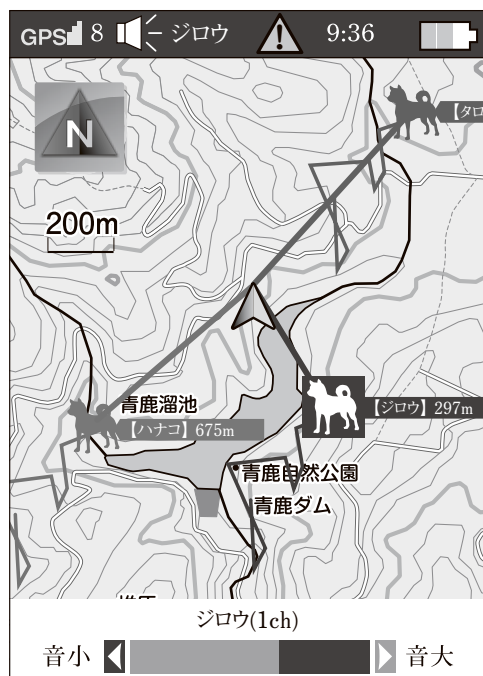
『方向ボタン』の右方向を押すことにより音量が大きくなります。左方向を押すことにより音声が小さくなります。

音声を終了するときには『戻るボタン』又は『地図ボタン』を押します。

音声モード中に『音声ボタン』を押すと、音声を消音状態にすることができます。再度『音声ボタン』を押すと、元の音量に戻ります。

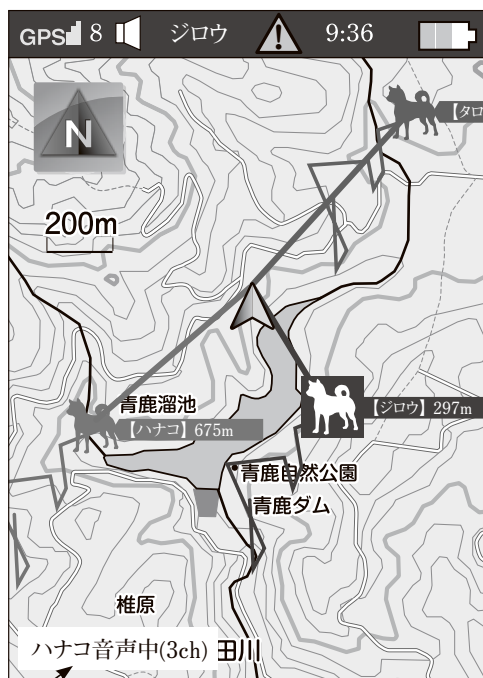
以下の場合、位置情報は更新されますが、音声が繋がらない場合があります。

- ・子機または、親機の電池残量が少ない場合
- ・子機のGPS測位状態が悪い場合
- ・子機から受信する電波の強度が弱い場合



音声受話中の画面

他の親機が音声をしている場合、画面下部に『(子機の名前) 音声中 (チャンネル)』と表示されます。



音声中の子機の名前と音声チャンネルが表示されます

他の親機が音声中の画面

『音声中』の子機を選択して音声切り替えを行うと、自分と他の親機の両方が同じ子機の音声を聞くことができます。『音声中』ではない子機を選択して音声切り替えを行うと、選択した子機の音声を聞くことができますが、他の親機の音声は切断されます。

第7章 一覧表示画面

地図画面で『音声ボタン』を2回押すと『一覧表示画面』が表示されます。
表示される内容は以下の通りです。

- 犬がいる方向
- 犬の名前
- 犬までの距離
- 子機から受信する電波の強度
- 子機のGPS測位状態
- 子機の電池残量

『一覧表示画面』では、1画面に3頭の犬の情報が表示されます。

『方向ボタン』の上下方向を押すことにより一覧表示がスクロールし、犬の選択を切り替えることができます。

選択中の犬の情報が橙色で表示されます。

☞『メニューボタン』押す→『設定』→『システム設定』→『一覧表示件数』で「5件」と設定することにより、1画面に5頭の犬を表示させることが出来ます。

子機が測位した時刻が表示されます。



一覧表示画面

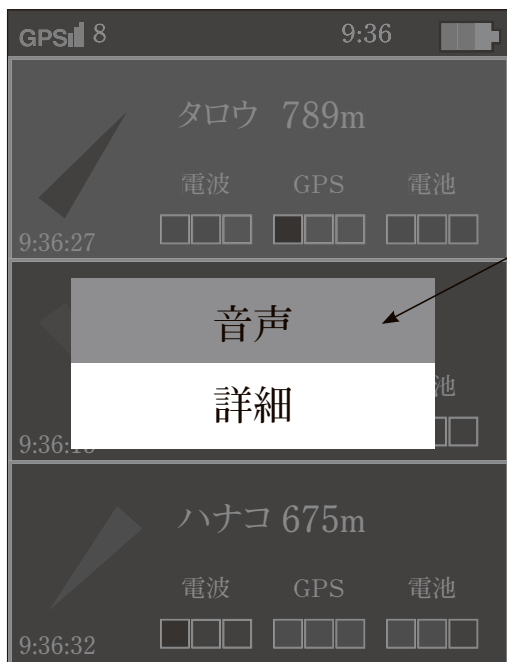
犬を選択した状態で『決定ボタン』を押すと、『音声／詳細』選択画面が表示されます。
『方向ボタン』の上下方向で『音声』と『詳細』を選択することが出来ます。選択された項目が橙色で表示されます。

『音声』を選択して『決定ボタン』を押すと音声を聞くことができます。

『詳細』を選択して『決定ボタン』を押すと『詳細画面』が表示されます。

以下の場合、一覧表示画面において『決定ボタン』を押しても、『音声／詳細』選択画面において『音声』が表示されない場合があります。

- ・子機または、親機の電池残量が少ない場合
- ・子機のGPS測位状態が悪い場合
- ・子機から受信する電波の強度が弱い場合

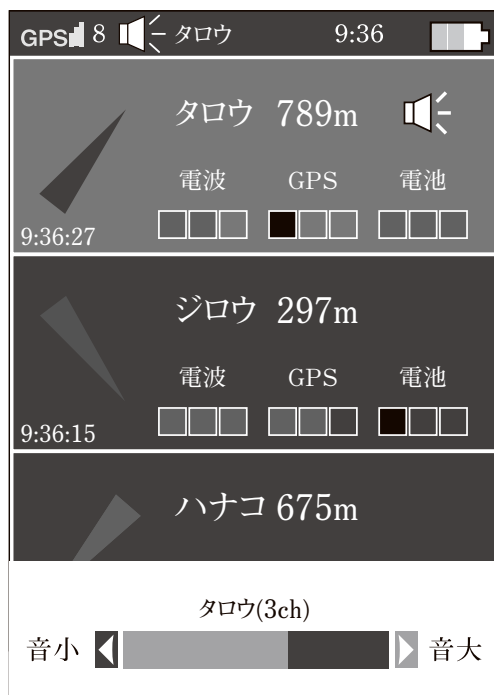


音声／詳細 選択画面

第7章 一覧表示画面

音声受話中に『方向ボタン』の上下方向で犬を選択することができます。『決定ボタン』を押すことにより音声の犬が切り替わります。

音声受話中に右方向を押すことにより音量が大きくなり、左方向を押すことにより音量が小さくなります。



音声受話中画面

第8章 詳細情報表示画面

一覧表示画面から『詳細』を選択し『決定ボタン』を押すと詳細情報画面が表示されます。詳細情報画面では以下の情報を確認することができます。

- コンパス(方位)
- 犬がいる方向
- 犬の名前
- 犬アイコンの色(犬の名前欄の色)
- 犬までの距離
- 犬の移動スピード
- 子機の電池残量
- 子機のGPS測位状態と受信衛星の数
- 子機から受信する電波の強度
- 子機がGPSによって測位した時刻

『方向ボタン』の上下方向を押すことにより犬を切り替えることができます。

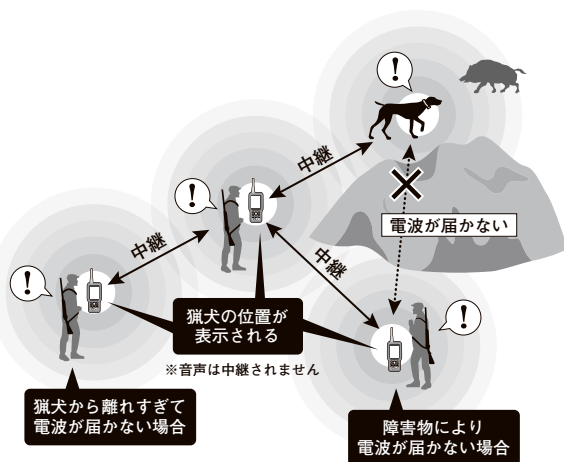


詳細情報表示画面

第9章 中継機能

中継機能を使用すると、親機が受信した子機の情報をお他の親機に送信します。

電波が届かない場所にある子機の位置情報をお他の親機から受信することができ、通信範囲が拡大します。



9.1. 操作方法

メニュー

設定

システム設定

中継設定

メニュー画面から『設定』→『システム設定』→『中継設定』を選択します。中継機能設定『ON』を選択し『決定ボタン』を押すと中継機能が有効になります。

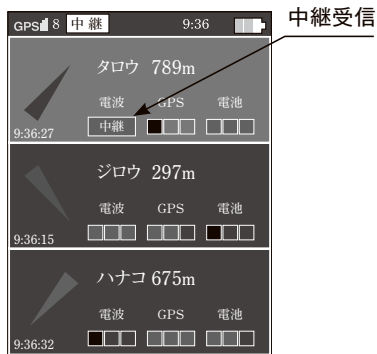
中継機能設定を『ON』にしたメイン機及びサブ機(39ページ参照)が通信圏内に存在する場合、自動的に中継による送受信が開始されます。

地図画面ではお他の親機と中継機能による送受信が行われると、画面上部に『中継』と表示されます。また、一覧表示画面では中継によりお他の親機から受信した子機の電波に『中継』と表示されます。

中継表示



中継表示



一覧表示画面

中継機能設定を『OFF』にすると、中継機能は無効になります。

中継機能設定を『ON』にした他の親機と12時間以上通信できなかった場合、中継送信を停止し、地図画面上の『中継』表示が消えます。通信が再開した場合、自動的に中継送受信を開始します。

☞ 中継送信を行う親機は、地図画面上の『中継』表示が黄色になります。中継送信を行わない親機は、地図画面上の『中継』表示が白色になります。

9.2. 中継機能詳細

- ・親機が中継情報を送信する間隔は1～2分に1回となります。
- ・中継機能は設定した通信チャンネル（45ページ参照）に加えて中継チャンネルを使用するため、下記チャンネルの電波を発する機器は使用しないでください。中継チャンネルの変更はできません。

設定した通信チャンネル	中継チャンネル
1 CH (142.940MHz)	3 CH (142.960MHz)
2 CH (142.950MHz)	4 CH (142.970MHz)
3 CH (142.960MHz)	5 CH (142.980MHz)
4 CH (142.970MHz)	2 CH (142.950MHz)
5 CH (142.980MHz)	1 CH (142.940MHz)

- ・通信チャンネルを変更すると、中継チャンネルも変更されます。
- ・中継送信を行うためには、メイン機とサブ機が1回以上通信する必要がありますので、猟の開始は下記の手順で行ってください。
 - ①メイン機/サブ機の各所有者が集合し、パスワードの設定、通信チャンネルの設定を行う。
 - ②すべての端末の中継機能設定を『ON』にする。
 - ③地図画面にすべての子機の犬アイコンと『中継』が表示されるまで待つ。
 - ④狩猟を開始する。
- ・音声は中継されません。
- ・中継により子機情報を得るためには、電源をONにしてから子機からの電波を1回以上直接受信する必要があります。
- ・音声受話中は中継機能が無効になります（音声を終了すると、自動的に中継機能が有効になります）。
- ・一覧表示画面の電波状態が『中継』になっている子機の音声は聞くことができません。子機の電波が直接受信できる場所まで移動してください。
- ・Ver.2より前の子機では中継機能が使用できません。
- ・バッテリー残量が少ない時は、中継送信されません。

第9章 中継機能

- ☞ 中継機能を使用すると、親機の電池の持続時間が短くなります（目安としては子機3台使用時で中継機能設定OFFの時に比べて約30分程度短くなります。） 電池残量が少なくなったときは、『中継機能設定』の『詳細設定』から『中継送信しない』を選択することで、電池の持続時間を伸ばすことはできますが、中継情報を送信しなくなるため通信エリアが小さくなる親機が発生する可能性があります。
- ☞ 子機からの電波が直接受信できる環境では中継による受信はされません。
- ☞ 『中継機能』の設定方法は39ページを参照してください。

第10章 探索モード

探索モードを使用すると迷い犬(?表示)を発見しやすくなります。

10.1. 操作方法

地図ボタンを2秒以上長押しすると、画面が消灯し探索モードに入ります。画面消灯中は探索モードの状態であり、電波の受信が良好になります。

探索モード中に迷い犬(?表示)になっている子機からの電波を受信すると、ブザーが「ブツッ」と鳴ります。

選択している子機のうち、迷い犬(?表示)になっている全ての子機からの電波を受信すると、探索モードが解除され自動的に画面が点灯します。

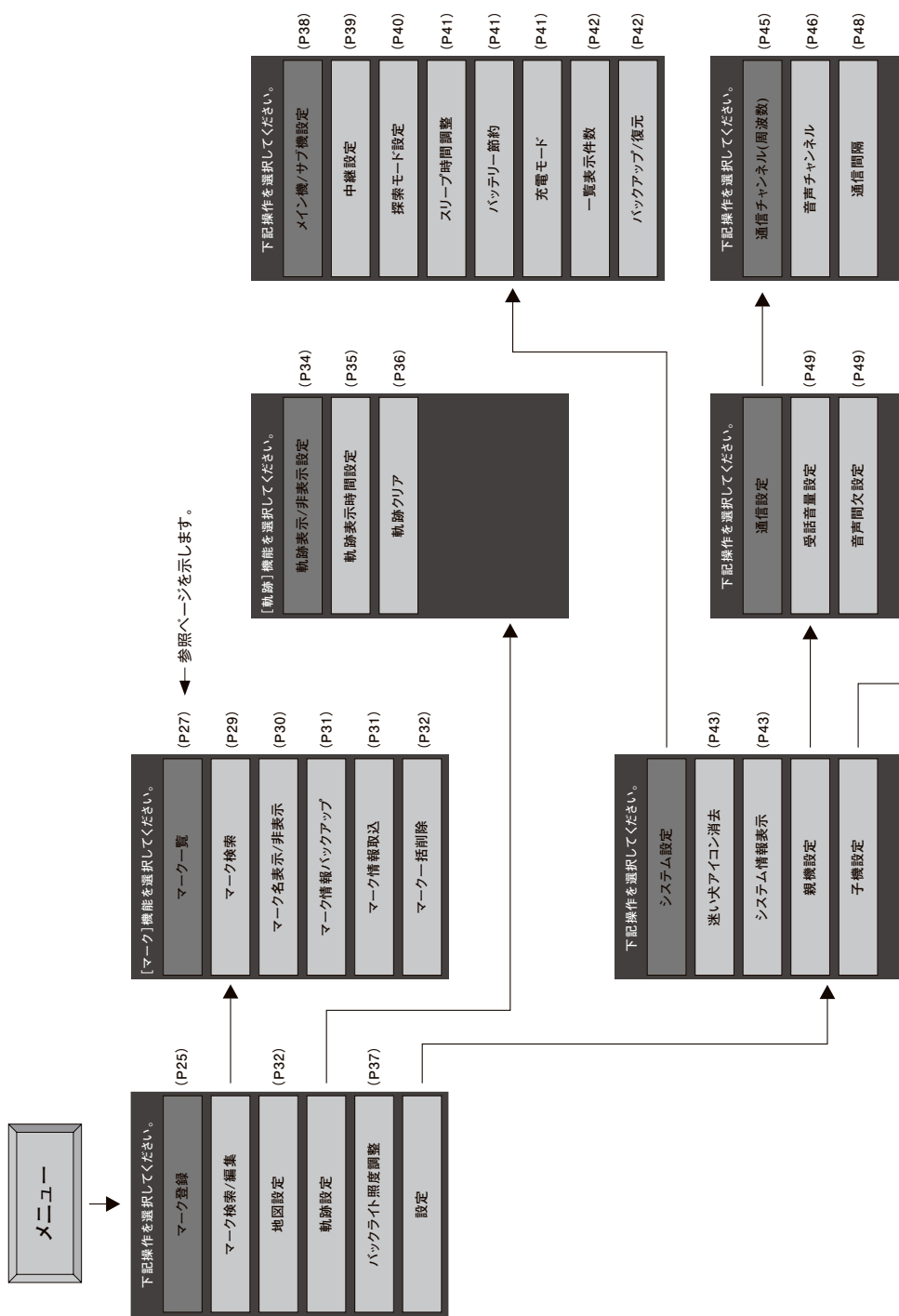
選択している子機のうち、迷い犬(?表示)になっている全ての子機からの電波が受信できない場合、3分で自動的に探索モードが解除され画面が点灯します。

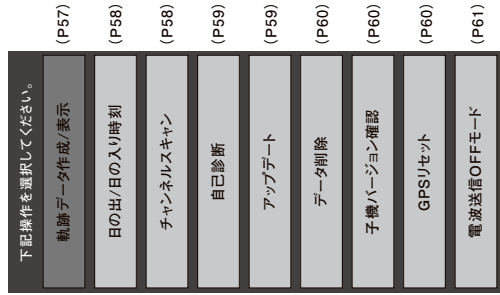
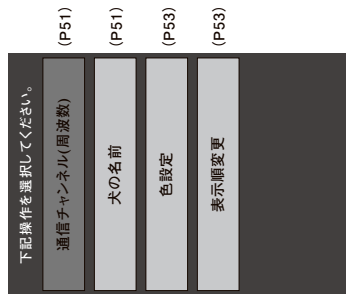
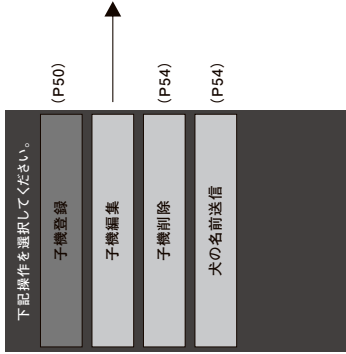
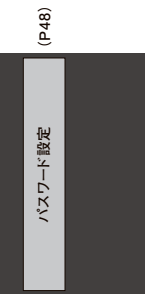
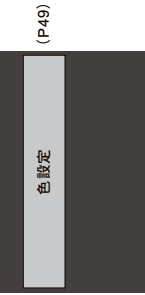
☞ 探索モード中、任意のボタンを押すと探索モードが解除され、画面が点灯します。

☞ ブザー音は鳴らさないようにすることができます。
(40ページ 探索モード設定)

☞ 探索モードで発見する対象の子機を選択することができます。『対象子機選択』で選択している子機が通知対象になります。
(40ページ 探索モード設定)

第11章 メニュー構成





■ メニュー画面の操作

『▼方向ボタン』、又は、『▲方向ボタン』を押すことにより選択項目が切り替わります。選択中の項目が橙色に変わりますので、『決定ボタン』を押すことにより選択中の項目が実行されます。

メニュー項目の多い画面では、一部の項目は画面の下部に隠れていますので、『▼方向ボタン』を押して移動してください。画面がスクロールして隠れている項目が表示されるようになります。

また、一番上の項目からさらに『▲方向ボタン』を押すと一番下の項目へ移動することが出来ます。

第12章 操作方法

12.1. メニューの操作

地図画面の状態です『メニューボタン』を1回押すと『狩猟メニュー』が表示され、2回押すと『メインメニュー』が表示されます。また、『狩猟メニュー』の『設定』を選択することでも『メインメニュー』が表示されます。

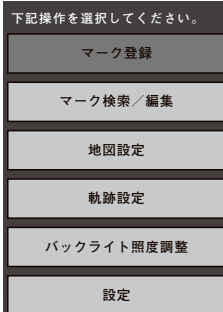
各メニューの階層は、前ページの図に示す通りとなっていますので、『▼方向ボタン』『▲方向ボタン』『決定ボタン』を操作して必要な項目を選択してください。

12.2. 狩猟メニュー操作

狩猟メニューとは、狩猟中に操作頻度が高い機能を集めたものです。

以下の機能があります。

- マーク登録
- マーク検索／編集
- 地図設定
- 軌跡設定
- バックライト照度調整
- 設定



12.3. マーク登録






















狩猟メニュー画面から『マーク登録』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押すと、『マーク種別』が表示されます。付けたい『マーク種別』を選択し、『決定ボタン』を押すと、カーソル位置にマークが付けられ、地図表示画面に戻ります。

最大で200箇所マークを付けることが可能です。

📏 マークは10km以上の縮尺では表示されません。

『マーク種別』は以下のマークから選択することが可能です。

	通常		小屋		病院
	旗 (青/黄/赤 /緑/紫/黒 から選択)		鉄塔		動物病院
	鹿		鳥		キャンプ
	猪		兎		SUV
	猟師		猿		ツリー スタンド
	トラック		熊		
	民家		きのこ		

第12章 操作方法

12.4. マーク検索／編集

メニュー → マーク検索／編集

マークの検索／編集を行います。

狩猟メニュー画面から『マーク検索／編集』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押すと、『マーク検索／編集』メニューが表示されます。

12.4.1. マーク一覧

メニュー → マーク検索／編集 → マーク一覧

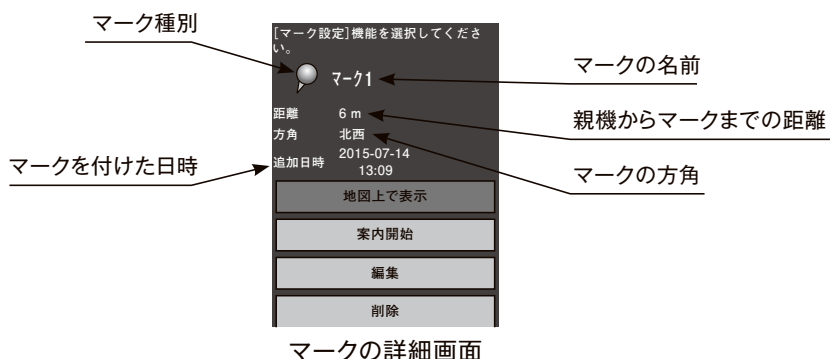
すべてのマークを一覧画面で表示します。

マーク一覧画面では、『マーク種別』『マークの名前』『自分の位置からマークまでの距離』『マークの方向』『マークを付けた時間』が表示されます。

☞ マーク一覧画面でマークの絞込みを行いたい場合は、『マークの検索』を行ってください。



マーク一覧からマークを選択して『決定』ボタンを押すと、マークの詳細画面と『地図上で表示』、『案内』、『編集』、『削除』のメニューが表示されます。



12.4.1.1. 地図上で表示

地図画面をマークの位置に移動します

『地図上で表示』を選択し、『決定』ボタンを押してください。

12.4.1.2. 案内開始

親機の現在位置と案内設定したマークを直線表示で結びます。

『案内開始』を選択し、『決定』ボタンを押すと、案内が開始されます。案内中のマークにはマーク一覧画面及びマーク詳細画面に『案内中』アイコンが表示されます。



12.4.1.3. 編集

マークの名前を設定します。

『編集』を選択し『決定』ボタンを押すと、名前を入力画面が開きます。名前入力の方法は『子機設定』→『子機編集』→『犬の名前入力』を参照ください(52ページ参照)。

マークの名前は、8文字まで入力可能です。8文字入力すると、決定ボタンにフォーカスが自動的に移動します。

12.4.1.4. 削除

マークを削除します。

『削除』を選択し『決定ボタン』を押すと、「マークを削除しますか?」と表示されますので、『はい』を選択して『決定ボタン』を押すとマークが削除されます。

第12章 操作方法

12.4.2. マーク検索

メニュー

マーク検索／編集

マーク検索

マークの検索を行います。

『名前を検索』はマークの名前で検索したい場合に選択します。名前を入力画面が表示されますので、検索したいマークの名前を入力して『決定』ボタンを押します。

『記号を検索』はマーク種別で検索したい場合に選択します。『記号を検索』の□を選択して『決定』ボタンを押すと、マーク種別のリストが表示されますので、検索したい種別のマークを選択して『決定』ボタンを押します。

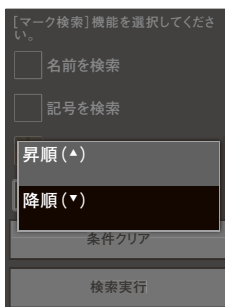
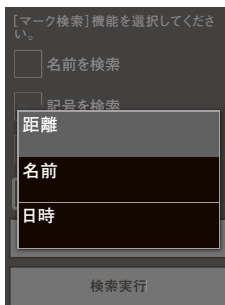
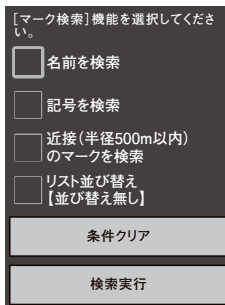
『近接(500m)以内のマークを検索』は自分の位置から半径500mの範囲内に存在するマークを検索したい場合に選択します。『近接(500m)以内のマークを検索』の□を選択して『決定』ボタンを押します。

『リスト並べ替え』は検索結果一覧の順番を変更したい場合に選択します。『リスト並べ替え』の□を選択して『決定』ボタンを押すと、『距離』『名前』『日時』のメニューが表示されますので、並べ替えを行う項目を選択します。また、『昇順』『降順』についても指定します。

上記の設定を行い『検索実行』ボタンを押すと、□にチェックが入っているすべての検索項目に該当するマークのみが一覧画面で表示されます。一覧画面からマークを選択すると、『マーク詳細画面』が表示され、『地図上で表示』、『案内』、『編集』、『削除』のメニューを選択することができます。

また、『条件クリア』ボタンを押すと、設定したすべての検索条件が削除されます。

☞『名前を検索』では入力した名前が一部でも含まれているマークを検索します。



12.4.3. マーク名表示／非表示

メニュー

マーク検索／編集

マーク名表示／非表示

地図画面上のマークの名前の表示/非表示を設定します。

『表示』を選択すると地図画面上にマークの名前が表示されます。

『非表示』を選択すると地図画面上にマークの名前が表示されなくなります。

設定したい項目の左側の○が橙色になるように、『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより、中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の設定が有効になります。

「マーク名表示/非表示」を選択してください。

マークの名前

表示

非表示

第12章 操作方法

12.4.4. マーク情報バックアップ

メニュー → マーク検索／編集 → マーク情報バックアップ

マーク情報をバックアップします。

マーク情報取込機能と合わせて使うことにより、他の親機に自分のマーク情報を入れたり、バックアップした状態のマークの情報を復元することができます。

『マーク情報バックアップ』のメニューを選択して『決定ボタン』を押すと、「マークをバックアップします。よろしいですか?」と表示されるので、『はい』を選択すると、すべてのマークがバックアップされます。バックアップしたマーク情報は本体内部記憶領域に作成されますので、パソコンと本体をUSBケーブルで接続してパソコンへコピーすることにより取り出します。パソコンとの接続方法は『パソコンとの接続方法』(☞62ページ)を参照してください。

バックアップしたマーク情報は以下のファイルに格納されています。

HT-01(:x)/markdata/markinfo.csv

☞ パソコンに接続した状態で、『マーク情報バックアップ』は行わないでください。

☞ 『マーク情報バックアップ』を実行すると、以前バックアップしたマークの情報は上書きされますので、ご注意ください。

12.4.5. マーク情報取込

メニュー → マーク検索／編集 → マーク情報取込

『マーク情報バックアップ』で作成したマーク情報ファイルを読み込み、自分の親機にマークを表示します。『マーク情報バックアップ機能』と合わせて使うことにより、他の親機に自分のマーク情報を入れたり、バックアップした状態のマークの情報を復元することができます。

マークの情報を別の親機に入れる方法

- ① マークの情報を取り出したい親機で『マーク情報バックアップ』を行い、作成されたマーク情報ファイル「markinfo.csv」をPCに保存します。
- ② マークの情報を入れたい親機をPCに接続します。パソコンとの接続方法は『パソコンとの接続方法』(☞62ページ)を参照してください。
- ③ ①でPCに保存した「markinfo.csv」のファイルを「HT-01(:x)/markdata」にコピーします。

「HT-01(:x)/markdata」に「markinfo.csv」がすでに存在する場合は、ファイルの移動やファイル名を変更する等の処置をした後でコピーしてください。

④ 親機をPCから切断してください。

『マーク情報取込』のメニューを選択して『決定ボタン』を押すと、「マーク情報を取り込みます。よろしいですか?」と表示されますので、『はい』を選択すると、①でバックアップしたマークが追加されます。

- ☞ 同じ場所にマークが存在する場合、そのマークは取り込まれません。
- ☞ 『マーク情報取込』をする前に付けられているマークは削除されません。
- ☞ 取込する前に付けられているマークと取込するマークの合計が200個を超える場合、一部のマークは取り込まれません。



出力されたマーク情報ファイル「markinfo.csv」は編集しないでください。編集された場合の動作は保証されません。

12.4.6. マーク一括削除

メニュー

マーク検索／編集

マーク一括削除

すべてのマークを削除します。

『マーク一括削除』のメニューを選択して『決定ボタン』を押すと、「マークをすべて削除します。よろしいですか?」と表示されますので、『はい』を選択すると、すべてのマークが削除されます。

12.5. 地図設定

メニュー

地図設定

地図の設定を行います。

狩猟メニュー画面から『地図設定』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押します。

『地図の向き』『地図選択』『鳥獣保護区等設定』について、設定したい項目の左側の○が橙色になるように、『上下方向ボタン』で移動します。決定ボタンを押すことにより、中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の項目が有効になります。

[地図設定]機能を設定してください。

地図の向き

ノースアップ表示

ヘディングアップ表示

地図選択

山間部優先

市街地優先

鳥獣保護区等設定

表示

非表示

第12章 操作方法

12.5.1. 地図の向き

『地図の向き』から『ノースアップ表示』または『ヘディングアップ表示』を選択すると、現在の地図表示状態が変わります。

☞ 『ノースアップ』とは地図の北が上に表示されるモードです。

『ヘディングアップ』とは、自身が向いている方向が上に表示されるモードです。

☞ 10km以上の地図縮尺では、『地図の向き』の設定に関わらず『ノースアップ』に切り替わります。

12.5.2. 地図選択

50m以下の縮尺で表示する地図を選択します。

『山間部優先』を選択すると、徒歩道や電波塔、崖など山間部の情報が充実した地図を表示します。『市街地優先』を選択すると、市街地の情報が充実した地図を表示します。

『市街地優先』を選択すると、一部地域では車道や建物の情報が増えますが、徒歩道や電波塔、堰、崖、鳥獣保護区等が表示されなくなります。

☞ 『市街地優先』設定にしても、地域によっては地図が変わりません。

☞ 100m以上の縮尺ではどちらの設定でも同じ地図になります。

12.5.3. 鳥獣保護区等設定

鳥獣保護区等の表示設定を行います。

『表示』を選択すると地図上に鳥獣保護区等のエリアが赤紫色で表示されます。『非表示』を選択すると地図上に鳥獣保護区等のエリアが表示されなくなります。

☞ 『表示』設定でも5km以上の縮尺では鳥獣保護区等が表示されません。

☞ 地図選択の『市街地優先』にした場合、地域によっては50m以下の縮尺で鳥獣保護区等が表示されない場合があります。



注意

鳥獣保護区等の情報は、2015年4月時点の鳥獣保護区、特別保護区域、休猟区の情報をもとに作成しております。最新の情報は各自自治体にてご確認をお願いします。

12.6. 軌跡設定

メニュー → 軌跡設定

軌跡の設定を行います。

狩猟メニュー画面から『軌跡設定』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押すと、『軌跡設定』メニューが表示されます。

12.6.1. 軌跡表示／非表示設定

メニュー → 軌跡設定 → 軌跡表示／非表示設定

軌跡の表示/非表示の設定を行います。

親機『表示』を選択すると、親機の軌跡が表示されます。親機『非表示』を選択すると、親機の軌跡が表示されなくなります。

子機『全子機表示』を選択すると、すべての子機の軌跡が表示されます。子機『全子機非表示』を選択すると、すべての子機の軌跡が表示されなくなります。

子機の軌跡表示設定を個別に設定する場合は、『個別選択』を選択し、『決定ボタン』を押してください。軌跡が存在する子機のリストが表示されますので、軌跡を表示する子機の□にチェックをして、『決定』ボタンを押してください。



設定したい値の左側の○が橙色になるように、『上下方向ボタン』で移動します。決定ボタンを押すことにより、中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の値が有効になります。

10km以上の地図縮尺では、『軌跡表示/非表示設定』の設定に関わらず『非表示』に切り替わります。

第12章 操作方法

12.6.2. 軌跡表示時間設定

メニュー → 軌跡設定 → 軌跡表示時間設定

軌跡の表示時間を設定します。

『軌跡表示時間設定』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押すと『親機』『子機』の選択画面が表示されますので、設定変更を行う方を選択して『決定ボタン』を押します。



12.6.2.1. 軌跡表示時間設定 (親機)

メニュー → 軌跡設定 → 軌跡表示時間設定 → 親機

親機の軌跡の表示時間を設定します。

設定したい表示時間値の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の表示時間が有効となります。

☞ 親機は最大24時間まで設定可能ですが、子機の軌跡表示台数が多い場合や、長い時間の軌跡を表示した場合は過去の軌跡が粗くなる場合があります。



12.6.2.2. 軌跡表示時間設定(子機)

メニュー

軌跡設定

軌跡表示時間設定

子機

子機の軌跡の表示時間を設定します。

画面の右端に『編集』と書かれたボックスがありますので、子機の軌跡表示時間を設定したい犬のボックスが橙色に変わるように『上下方向ボタン』で移動します。

『決定ボタン』を押すことにより選択画面が開きます。

- ☞ 子機は最大12時間まで設定可能ですが、子機の軌跡表示台数が多い場合や、長い時間の軌跡を表示した場合は過去の軌跡が粗くなる場合があります。

- ☞ 子機軌跡表示時間の個別設定はできません。

[軌跡表示有無]を設定してください。

- 30分間表示
- 60分間表示
- 120分間表示
- 4時間表示
- 8時間表示
- 12時間表示

12.6.3. 軌跡クリア

メニュー

軌跡設定

軌跡クリア

『軌跡クリア』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押すと右図のように「軌跡をクリアしますか?」と表示されますので、『はい』を選択して『決定ボタン』を押すと現在までの軌跡データがクリアされます。

軌跡をクリアしますか?

はい

いいえ

- ☞ 『軌跡クリア』した軌跡データは復元できません。

- ☞ 『軌跡クリア』をした場合でも、過去の軌跡は『軌跡データ作成/表示』(☞ 57ページ)で確認することができます。

第12章 操作方法

12.7. バックライト照度調整

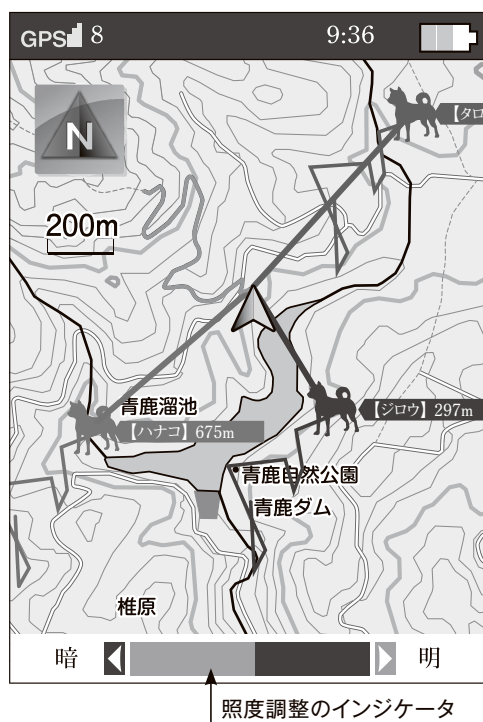
メニュー → バックライト照度調整

狩猟メニュー画面から『バックライト照度調整』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押すと地図画面の下に照度調整のインジケータが表示されます。

『方向ボタン』の右を押すと画面が明るくなり、左を押すと画面が暗くなります。

『戻る』ボタンを押すと画面下の照度調整画面が閉じられます。

ただし、バックライト照度調整中は、『音声ボタン』は動作しません。



12.8. 設定

メニュー → 設定

狩猟メニュー画面から『設定』のメニューを選択し、『決定ボタン』を押すと、メインメニューが表示されます。

12.8.1. システム設定

12.8.1.1. メイン機／サブ機設定

メニュー

設定

システム設定

メイン機／サブ機設定

本体を「メイン機」として使用するか「サブ機」として使用するかを設定します。

複数の親機で子機の情報共有する場合、メイン機／サブ機設定が必要です。メイン機に設定した親機に子機を登録してください。このメイン機に設定したパスワードをサブ機に入力することにより、サブ機でメイン機に登録された子機の位置情報が取得され、音声も聞くことができるようになります。

サブ機として使用する場合は、サブ機のパスワードを数字4桁で入力します。パスワードの値は参加するグループのメイン機で設定しているパスワードを入力します。

数字の入力方法は、『方向ボタン』で数字を選択し、『決定ボタン』で数字を決定します。

画面の『決定』は4桁の数字を入力後にパスワードを決定するときに選択します。

入力を間違った時には『DEL』を選択して『決定ボタン』を押します。

パスワードを削除する場合は『パスワード初期化』を選択します。

[メイン機/サブ機]を設定してください。

メイン機

サブ機

サブ機のパスワード: [0022]
新パスワードを入力してください。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	0
決定	パスワード初期化	DEL		

☞ グループに1台のみメイン機に設定してください。

☞ サブ機の通信チャンネル(45ページ)は、参加するグループのメイン機で設定している値と一致させる必要があります。

☞ メイン機のパスワードは「パスワード設定」(48ページ)を参照してください。

第12章 操作方法

12.8.1.2. 中継設定

メニュー → 設定 → システム設定 → 中継設定

中継機能の設定を行います。

『ON』を選択すると、中継機能が有効になります。『OFF』を選択すると中継機能が無効になります。中継送信の設定を行う場合は『詳細設定』を選択して『決定ボタン』を押します。

設定したい項目の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の設定が有効となります。

☞ 『ON』の右には、『詳細設定』で設定した内容が表示されます。

☞ 中継機能の詳細は20ページを参照してください。

[中継設定]を設定してください。

ON [中継送信する]

OFF

詳細設定

12.8.1.2.1. 詳細設定(中継機能)

メニュー → 設定 → システム設定 → 中継設定 → 詳細設定

中継機能の詳細設定を行います。

『中継送信する』を選択すると、中継送信許可の状態になります。『中継送信しない』を選択すると、中継送信しない状態になります。

設定したい項目の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の設定が有効となります。

☞ 中継送信を行うことができる親機はグループで最大10台になります。11台目以降の親機は、『中継送信する』の設定にしている場合でも、中継送信を行いません(中継受信は行います)。

☞ 中継送信を行う親機は、地図画面上の『中継』表示が黄色になります。中継送信を行わない親機は、地図画面上の『中継』表示が白色になります。

☞ 中継機能の詳細は20ページを参照してください。

[中継送信設定]を設定してください。

中継送信する

中継送信しない

12.8.1.3. 探索モード設定

メニュー

設定

システム設定

探索モード設定

探索モードの設定を行います。

探索モード中に迷い犬(?表示)の子機からの電波を受信したとき、ブザーを鳴らす場合は、『迷い犬発見時にブザーを鳴らす』の□にチェックを入れてください。

『通知する犬の種類』では、探索モードの通知対象犬を選択します。

すべての子機を対象にする場合は、『すべての犬』を選択して『決定ボタン』を押してください。対象子機を個別選択する場合は『個別選択』を選択して『決定ボタン』を押すと、子機のリストが表示されますので、探索モードの通知対象にする子機にチェックをして『決定ボタン』を押してください。

設定したい項目の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の設定が有効となります。

☞ 探索モードの詳細は22ページを参照してください。

[探索モード]を選択してください。

迷い犬発見時にブザーを鳴らす

通知する犬の種類

全ての犬

個別選択

(通知対象)

犬38

(通知対象外)

犬34, 犬37

第12章 操作方法

12.8.1.4. スリープ時間調整

メニュー → 設定 → システム設定 → スリープ時間調整

何も操作をしない時にスリープ状態（電池の消費を少なくする状態）へ移行するまでの時間を設定します。

スリープ中は表示部の画面表示が消えます。

設定したいスリープ時間の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色のスリープ時間が有効となります。

【スリープ時間】を設定してください。

- 無し
- 30秒
- 1分
- 3分
- 10分

12.8.1.5. バッテリー節約

メニュー → 設定 → システム設定 → バッテリー節約

電池の消費を少なくし、バッテリーの持続時間を長くします。

設定したい項目の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の項目が有効となります。

【バッテリー節約】を設定してください。

- 標準
- 節約

☞ 『節約』モードに設定すると以下の状態に設定されます。

- ・ バックライト照度：最も暗い設定
- ・ スリープ時間：30秒

12.8.1.6. 充電モード

メニュー → 設定 → システム設定 → 充電モード

本体とパソコンをUSBケーブルで接続する時に設定が必要となります。

本体とパソコンをUSBケーブルで接続する時には『PC接続（500mA）』に設定してください。

設定したい項目の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の項目が有効となります。

【充電モード】を設定してください。

- PC接続
(500mA)
- アダプタ接続
(1000mA)

【注意】
パソコン(PC)に接続する時はPC接続に設定してください。
付属アダプタに接続する時はアダプタ接続に設定してください。

☞ 速く充電したい場合には、アダプタ接続（1000mA）に設定し、充電アダプタを利用してください。

12.8.1.7. 一覧表示件数

メニュー

設定

システム設定

一覧表示件数

一覧表示画面にて1画面に同時に表示する件数を設定します。

設定したい件数の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の件数が有効となります。

[表示件数]を設定してください。

3件

5件

12.8.1.8. バックアップ／復元

メニュー

設定

システム設定

バックアップ/復元

各設定値のバックアップ及び復元を行います。

『バックアップ』を選択して『決定ボタン』を押すと、その時に設定されていた各設定値が内部記憶領域に保存されます。

『復元』を選択して『決定ボタン』を押すと、内部記憶領域に保存されていた各設定値を読み込みバックアップを実行した時の状態に復元されます。

『最終バックアップ日時』は前回バックアップを実施した時の日時が表示されます。

バックアップの対象は以下の通りです。

- ・ システム設定値
- ・ 親機設定値
- ・ 子機設定値

☞ 設定値が消えた時などの復旧に便利ですので、定期的にバックアップを行うことをお勧めします。

[バックアップ/復元]機能を選択してください。

最終バックアップ日時
【2014-09-23 11:52:58】

バックアップ

復元

第12章 操作方法

12.8.2. 迷い犬アイコン消去

メニュー → 設定 → 迷い犬アイコン消去

狩猟途中で見失った子機は『?』アイコンで表示され、見失った位置に表示されます。

このアイコンを消したい場合に、この操作を行います。

何れか1頭のアイコンを消去したい場合には『迷い犬アイコン1件消去』を選択します。

一度に全頭のアイコンを消去したい場合には『迷い犬アイコン全件消去』を選択します。

☞『迷い犬アイコン消去』は、回収した子機の表示を消す時に使うことをお勧めします。回収していない子機に対して『迷い犬アイコン消去』を行うと、見失った子機の位置が表示されなくなります。ただし、『迷い犬アイコン消去』を行っても、親機と子機が通信できる環境にある場合は、犬アイコンが再表示されます。

下記操作を選択してください。

迷い犬アイコン1件消去

迷い犬アイコン全件消去

12.8.3. システム情報表示

メニュー → 設定 → システム情報表示

このメニューでは、狩猟者端末の各種情報が表示されます。

- 現在日付
- 現在時刻
- 狩猟者端末（親機）の電池残量
- GPS受信状態と受信衛星数
- 当日の日の出時刻
- 当日の日の入り時刻
- 狩猟者端末（親機）の現在位置の経度
- 狩猟者端末（親機）の現在位置の緯度
- Copyright
- システムバージョン

狩猟者端末のアプリケーションソフトウェアのバージョンと無線部ソフトウェアのバージョンが表示されます。

システム情報

日付	: 2015-07-14
時刻	: 21:38:32
電池	: 
GPS受信状態	: GPS  5
日の出	: 04:55
日の入り	: 19:13
親機経度	: 135°20'07"
親機緯度	: 34°42'50"
@Copyright	: FURUNO ELECTRIC CO.,LTD.
システムバージョン	: 1.02_syst - 16412
ライセンス情報	

- ライセンス情報

『ライセンス情報』を選択して『決定ボタン』を押すと、下記のメニューが表示されます。
確認したい内容を選択して、『決定ボタン』を押します。

- 著作権情報

地図の作成年月や著作権の情報が表示されます。

- 認証情報

無線設備の技術基準適合の情報が表示されます。

- オープンソースライセンス

オープンソース・ソフトウェアのライセンスが表示されます。

第12章 操作方法

12.8.4. 親機設定

メニュー → 設定 → 親機設定

12.8.4.1. 通信設定

親機の通信設定を行います。

12.8.4.1.1. 通信チャンネル(周波数)

メニュー → 設定 → 親機設定 → 通信設定 → 通信チャンネル(周波数)

無線通信で使用するチャンネル(周波数)を設定します。

設定したいチャンネル(周波数)の左側の◎が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の◎が緑色になります。中心の◎が緑色のチャンネル(周波数)が有効となります。

- ☞ 既に子機と通信している状態でチャンネル(周波数)を変更すると、子機と通信が出来なくなります。
- ☞ チャンネル(周波数)を変更したときは、子機のチャンネル(周波数)も変更してください。(☞51ページを参照してください。)
- ☞ メイン機のチャンネル(周波数)を変更したときは、サブ機のチャンネル(周波数)も変更してください。

[チャンネル]を設定してください。

CH1 (142.940MHz)

CH2 (142.950MHz)

CH3 (142.960MHz)

CH4 (142.970MHz)

CH5 (142.980MHz)

12.8.4.1.2. 音声チャンネル

メニュー

設定

親機設定

通信設定

音声チャンネル

音声通信で使用するチャンネル(周波数)を選択します。

設定した通信チャンネルで位置と音声の両方を通信するか、音声のみ別のチャンネル(音声専用チャンネル)を使用するかを設定することができます。

設定画面の『CH X(通信CH使用)』のXには『通信チャンネル』で設定しているチャンネルが表示されます。『CH Y(音声専用CH使用)』のYには音声専用チャンネルとして設定可能なチャンネルが表示されます。通信チャンネルと同じチャンネルで音声通信を行うには『CH X(通信CH使用)』を選択してください。通信チャンネルと別のチャンネルで音声通信を行うには『CH Y(音声専用CH使用)』を選択してください。

[チャンネル]を設定してください。

CH X(通信CH使用)

CH Y(音声専用CH使用)

設定したい項目の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の項目が有効となります。

第12章 操作方法

- ☞ サブ機のとときは『音声チャンネル』を設定できません。グループ内の親機はメイン機で設定した音声チャンネルで音声通信を行います。
- ☞ 『通信チャンネル』の設定にした場合、音声通信中は全ての親機で子機の位置更新時間が遅くなる場合があります。
- ☞ 『音声専用チャンネル』の設定にした場合、音声受話中以外の親機では子機の位置更新時間は変わりません。ただし、近くに音声の子機が存在する場合は子機の位置更新に影響を及ぼす場合があります。
- ☞ 『音声専用チャンネル』として設定可能なチャンネルは、設定した『通信チャンネル』により決定されます。

設定した通信チャンネル	音声専用チャンネル	【参考】中継チャンネル
1 CH(142.940MHz)	5 CH(142.980MHz)	3 CH(142.960MHz)
2 CH(142.950MHz)	設定不可	4 CH(142.970MHz)
3 CH(142.960MHz)	1 CH(142.940MHz)	5 CH(142.980MHz)
4 CH(142.970MHz)	設定不可	2 CH(142.950MHz)
5 CH(142.980MHz)	3 CH(142.960MHz)	1 CH(142.940MHz)

2CH、4CHをご使用の場合は、『音声専用チャンネル』の設定にすることはできません。

- ☞ 『通信チャンネル』の設定を変更した場合、音声チャンネルも変更されます。
- ☞ 『音声専用チャンネル』に設定した場合、設定した通信チャンネルに加え、音声専用チャンネルの電波を発する機器は使用しないでください。
- ☞ 音声中は音声チャンネルが画面に表示されます。
- ☞ Ver.2より前の子機では『音声専用チャンネル』の設定にしている場合、通信チャンネルで音声通信を行います。

12.8.4.1.3. 通信間隔



子機から親機へ子機情報を送信する間隔を設定します。

設定したい通信間隔の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の通信間隔が有効となります。

[通信間隔]を設定してください。

- 最短モード(5秒)
- 通常モード(30秒)
- 省エネモード(60秒)

☞ 子機が、メイン機もしくはサブ機と2時間以上通信できなくなると、ここでの設定に関わらず、通信間隔が5分になります。メイン機もしくは、サブ機と通信できるようになると、この設定に戻ります。

12.8.4.1.4. パスワード設定



メイン機が設定するグループのパスワードを数字4桁で入力します。

数字の入力方法は、『方向ボタン』で数字を選択し『決定ボタン』で数字を決定します。

4桁入力を終わると、『決定』にフォーカスが移動しますので、確認のうえ、『決定ボタン』を押して入力を確定します。

このとき、「パスワードを保存しますか?」と表示されますので、保存するときは「はい」を選択し、保存したくない時には「いいえ」を選択して『決定ボタン』を押します。

入力を間違った時には『DEL』を選択して『決定ボタン』を押します。

パスワードを削除する場合は『パスワード初期化』を選択します。

旧パスワード：[0022]です。新パスワードを入力してください



第12章 操作方法

12.8.4.2. 受話音量設定

メニュー → 設定 → 親機設定 → 受話音量設定

子機から受信した音声スピーカーから発声するときの音量を設定します。

設定したい音量の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の音量が有効となります。

☞ 音声モード中に『左右方向ボタン』でも音量の調整が可能です。

[受話音量]を設定してください。



12.8.4.3. 音声間欠設定

メニュー → 設定 → 親機設定 → 音声間欠設定

音声通話のモードを選択します。

『音声連続』を選択すると、音声を連続して受話できます。

『音声間欠』を選択すると、音声5秒周期で受話と無音を繰り返します。

設定したい通話モードの左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色の通話モードが有効となります。

☞ 『音声間欠』モードは、電池の消耗を抑えたい時に使用します。

☞ 複数の親機で同時に音声を受話している場合は、音声間欠されないことがあります。

[音声間欠]を設定してください。



12.8.4.4. 色設定

メニュー → 設定 → 親機設定 → 色設定

親機のアイコンの色を設定します。

設定したいアイコン色の左側の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色のアイコン色が有効となります。

[親機の色]を設定してください。



12.8.5. 子機設定

メニュー → 設定 → 子機設定

12.8.5.1. 子機登録

メニュー → 設定 → 子機設定 → 子機登録

親機に子機を登録して通信可能な状態にします。

親機のチャンネル(周波数)と同じチャンネルで子機を登録します。

画面下方に登録済の子機リストが表示されます。

子機の『電源ボタン』を5秒以上長押しして登録モードにします。

この状態で子機が見つかると、下段に示した画面が表示されますので『はい』を選択して『決定ボタン』を押すことにより子機が登録されます。

☞ 『タイムスロット』は変更しないでください。

☞ 『色設定』における番号は以下の色を示します。

1. 紺色、2. 深緑色、3. 茶色、4. 青色、5. 薄桃色、
6. 黄緑色、7. 薄茶色、8. 青灰色、9. 赤色、10. 桃色、
11. シアン色、12. 暗紫色、13. 紫色、14. 金色、
15. 灰色

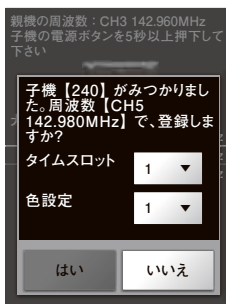
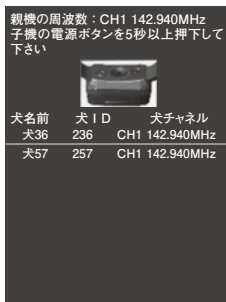
親機の表示部に『登録が完了しました。』と表示されると同時に、子機の青色LEDランプの点滅が消灯すると子機登録作業の完了です。

登録が正常に完了しなかった場合はもう一度やり直してください。

☞ サブ機の場合は、この項目は選択できません。

☞ 子機登録操作中は、子機の位置情報は更新されません。

☞ 他の親機で登録したときは、子機の登録情報が上書きされますので、元の親機に登録情報は残りますが、通信できなくなります。元の親機で再び通信したいときは、再登録してください。



第12章 操作方法

12.8.5.2. 子機編集

メニュー → 設定 → 子機設定 → 子機編集

12.8.5.2.1. 通信チャンネル(周波数)(子機)

メニュー → 設定 → 子機設定 → 子機編集 → 通信チャンネル(周波数)

親機と子機を同じチャンネル(周波数)に設定します。

左右方向ボタンを押すと親機のチャンネル(周波数)を変更することが出来ます。

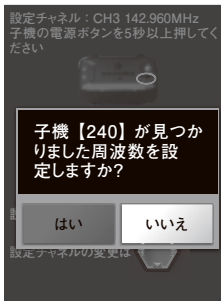
画面の下方に登録されている子機のリストが表示されます。

子機の電源がOFFの状態ですべて『電源』ボタンを5秒以上長押しして登録モードにします。

この状態で子機が見つかったら、下段に示す画面が表示されますので『はい』を選択して『決定』ボタンを押します。

親機の表示部に『登録が完了しました。』と表示されると同時に、子機の青色LEDランプの点滅が消灯すると子機登録作業の完了です。

※ サブ機の場合は、通信チャンネル(周波数)は選択できません。



12.8.5.2.2. 犬の名前

メニュー → 設定 → 子機設定 → 子機編集 → 犬の名前

犬の名前を設定します。

画面の右端に『編集』と書かれたボックスがありますが、名前を設定したい犬のボックスが橙色に変わるように上下方向ボタンで移動します。

『決定』ボタンを押すことにより入力画面が開きます。



12.8.5.2.2.1. 犬の名前入力

カタカナ、数字、アルファベット、記号を入力することが出来ます。

また、「犬」の漢字も入力することが出来ます。

犬の名前入力モードは、3ページで構成されており、最初のページはカタカナ、次のページは数字と記号、最後のページはアルファベットのページです。

各ページの最下段にある『123』『ABC』『カタカナ』のキーに『方向ボタン』でフォーカスを移動し『決定ボタン』を押すことによりページが切り替わります。

犬の名前を入力する際は、『方向ボタン』で入力したい文字にフォーカスを移動し、『決定ボタン』を押すことにより、文字が入力されます。

入力文字を取り消したい場合には、『DEL』キーにフォーカスを移動し、『決定ボタン』を押します。

名前を確定するには、『決定』キーにフォーカスを移動して『決定ボタン』を押します。

犬の名前は、4文字まで入力可能です。

4文字入力すると、『決定』キーにフォーカスが自動的に移動します。

以下に特殊なキーの説明を記載します。

DEL	最後に入力した文字を一文字取り消します。
決定	入力した文字を確定します。
Space	空白文字を入力します。
スペース	空白文字を入力します。
shift	アルファベットの大文字に切り替わります。
犬	犬の漢字を入力します。 「犬」の文字は2文字分となります。
“	1回押：濁音 2回押：半濁音
ABC	アルファベット入力ページに切り替わります。
カタカナ	カタカナ入力ページに切り替わります。
123	数字及び記号入力ページに切り替わります。
小	カタカナの小文字に切り替わります。 大文字で入力後、『小』ボタンを押してください。



第12章 操作方法

12.8.5.2.3. 色設定



犬アイコンの色を設定します。

画面の右端に『編集』と書かれたボックスがありますので、犬アイコンの色を設定したい犬のボックスが橙色に変わるように『上下方向ボタン』で移動します。

『決定ボタン』を押すことにより選択画面が開きます。

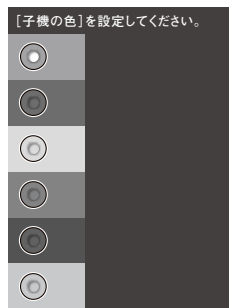
- ☞ サブ機のとときの犬のアイコンの色は、子機登録時に指定した色となります。
- ☞ サブ機の時には、色設定は選択できません。



12.8.5.2.3.1. 色選択画面

子機のアイコンの色を設定します。

設定したいアイコン色の○が橙色になるように『上下方向ボタン』で移動します。『決定ボタン』を押すことにより中心の○が緑色になります。中心の○が緑色のアイコン色が有効となります。



12.8.5.2.4. 表示順変更



一覧表示画面の犬の表示順や、地図画面で音声選択時の選択順を設定します。

一番上に表示されている犬が最初に表示され、音声選択の時には最初に選択されます。

画面の右端に矢印が書かれたボックスがあります。例えば、図の犬63と犬37の表示順を変えたいときは犬37の↓矢印ボックスを選択して『決定ボタン』を押すと、犬37と犬63の表示順序が変更されます。

- ☞ サブ機の時には、表示順変更は選択できません。



12.8.5.3. 子機削除

メニュー → 設定 → 子機設定 → 子機削除

登録されている子機を削除します。

画面の右端に『削除』と書かれたボックスがありますので、削除対象の子機のボックスが橙色に変わるように『上下方向ボタン』で移動し、『決定ボタン』を押すと、「[犬の名前]を削除しますか」と表示されますので、「はい」を選択して『決定ボタン』を押すと子機が削除されます。

- ☞ 子機削除を行った子機は、軌跡データが削除されます。軌跡データを作成したい場合は、子機削除の前に軌跡データ作成 (☞ 57ページ) を行ってください。



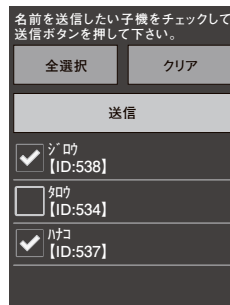
12.8.5.4. 犬の名前送信

メニュー → 設定 → 子機設定 → 犬の名前送信

登録している子機の名前を他の親機に送信することができます。

登録されている子機のリストが表示されますので、名前を送信したい子機の□にチェックを入れて『送信』ボタンを押します。

犬の名前を受信した親機には、「他の親機より識別情報を受信しました。登録しますか?」と表示されますので、『はい』を選択して『決定ボタン』を押します。受信した名前のリストが表示されますので、名前を変更したい子機の□にチェックを入れて『決定』ボタンを押します。



- ☞ 犬の名前を受信するには、送信する親機と『チャンネル』『パスワード』が一致している必要があります。

第12章 操作方法

12.8.6. アイコン設定

メニュー

設定

アイコン設定

●犬までの距離表示

親機から子機までの距離を地図上に表示するか否かを設定します。

●犬の名前表示

犬の名前を地図上に表示するか否かを設定します。

●犬の方向表示

親機と子機を直線で結び、犬の方向が判りやすく表示します。

●オフスクリーン犬表示

地図表示のとき、犬が表示部の外に出た時に親機とその犬を直線で結び、犬のいる方向を知らせます。

●アイコン縮小表示

犬アイコンを小さく表示します。

[アイコン設定]機能を設定してください。

犬までの距離表示

犬の名前表示

犬の方向表示

オフスクリーン犬表示

アイコン縮小表示

設定したい項目の左の四角の周辺が橙色になるように『上下方向ボタン』で選択します。橙色になっている状態で『決定ボタン』を押すと、レ点が付きます(消えます)。レ点が付いているときは、その項目が有効である事を示し、レ点が消えている場合は無効である事を示します。

12.8.7. 警告設定

メニュー

設定

警告設定

●子機バッテリー残量低下時の警告

子機の電池残量が20%程度まで低下した時に警告音(アラーム)を発生するか否かを設定します。

●子機GPS受信不良時の警告

子機がGPSの電波を受信できなくなり、位置情報が不明になった時に警告音(アラーム)を発生するか否かを設定します。

●電波受信不良時の警告

子機からの電波が届かなくなり、子機の位置情報が不明になった時に警告音(アラーム)を発生するか否かを設定します。

●子機遠離時の警告

猟犬が設定距離よりも遠くへ遠離した時に警告音(アラーム)を発生するか否かを設定します。

また、数字の上の「+」を選択して『決定ボタン』を押す毎に設定距離が大きくなり(200m単位)数字の下の「-」を選択して『決定ボタン』を押す毎に設定距離が小さくなります。

●本体バッテリー残量低下時の警告

本体の電池残量が20%程度まで低下した時に警告音(アラーム)を発生するか否かを設定します。

●本体GPS圏外時の警告

本体がGPS電波を受信不能となった時に警告音(アラーム)を発生するか否かを設定します。

●電波競合時の警告

本体と同じ周波数の電波を検知した時に警告音(アラーム)を発生するか否かを設定します。

設定したい項目の左の四角の周辺が橙色になるように『上下方向ボタン』で選択します。橙色になっている状態で『決定ボタン』を押すと、レ点が付きます(消えます)。レ点が付いているときは、その項目が有効である事を示し、レ点が消えている場合は無効である事を示します。

項目を有効にすると、右図のように、警告が表示され、ブザーが鳴ります。

☞「探索モード時」、「スリープ時」も通知は有効になります。

[警告設定]機能を設定してください。

子機バッテリー残量低下時の警告

子機GPS受信不良時の警告

電波受信不良時の警告

子機遠離時の警告 20 00M

本体バッテリー残量低下時の警告

本体GPS圏外時の警告

電波競合時の警告

下記操作を選択してください。

マーク

地図設定

親機のバッテリー量が残り少なくなりました。充電してください。

設定

第12章 操作方法

12.8.8. ツール

12.8.8.1. 軌跡データ作成／表示

メニュー → 設定 → ツール → 軌跡データ作成／表示

軌跡データの作成/表示を行います。

12.8.8.1.1. 軌跡データの作成

子機及び親機の軌跡をパソコンに取り込むためのファイルを作成します。軌跡データファイルは本体内部記憶領域に作成されますので、パソコンと本体をUSBケーブルで接続してパソコンへコピーすることにより取り出します。パソコンとの接続方法は『パソコンとの接続方法』(☞62ページ)参照してください。

軌跡データを作成するには、カレンダーの赤色になっている日(軌跡データが存在する日)から軌跡データを作成したい日を選択し『決定』ボタンを押します。

『画面出力』か『ファイル出力』の選択画面が表示されますので、『ファイル出力』を選択します。次に、ファイル出力形式選択画面が表示されますので、『TXTファイル』か『GPXファイル』を選択します。

『軌跡を出力中』と表示され、軌跡データの作成が開始されます。表示が消えたら作成完了です。

☞ 軌跡データ作成には、しばらく時間を要することがあります。

☞ パソコンに接続した状態で、軌跡データ作成は行わないでください。

☞ 取り込んだ軌跡データは以下の地図ソフトで、表示可能です。

- ・『TXTファイル』形式:カシミールなど
- ・『GPXファイル』形式:Google Earth、カシミールなど



12.8.8.1.2. 軌跡データの表示

子機及び親機の過去の軌跡を画面に表示します。

軌跡を表示するには、カレンダーの赤色になっている日(軌跡データが存在する日)から軌跡を表示したい日を選択し『決定』ボタンを押します。

『画面出力』か『ファイル出力』の選択画面が表示されますので、『画面出力』を選択します。

軌跡を表示したい親機/子機にチェックを付け、『表示する』で『決定』ボタンを押します。

地図画面が軌跡の開始ポイントに移動し、開始ポイントが●アイコンで表示されます。

『戻る』ボタンを押すと軌跡データの表示画面を終了します。

12.8.8.2. 日の出／日の入り時刻

メニュー → 設定 → ツール → 日の出/日の入り時刻

画面に表示されている日付の現在位置における日出時刻と日の入時刻を表示します。

年月日の上にある「+」ボタンをおすことにより日付が+1されます。

年月日の下にある「-」ボタンを押すことにより日付が-1されます。



12.8.8.3. チャンネルスキャン

メニュー → 設定 → ツール → チャンネルスキャン

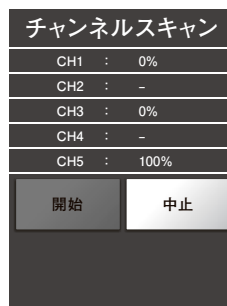
チャンネル1, 3, 5の電波の使用状況を確認します。

狩猟を開始する前に、他の無線機との干渉を避けるために影響の少ない通信チャンネル(周波数)を確認します。

『開始ボタン』を押すことによりチャンネルスキャンを開始します。

チャンネルスキャンを開始すると、CH1から順に約5秒間電波をスキャンし、次のチャンネルに移ります。途中で中止したい場合は『中止』ボタンを選択して『決定ボタン』を押します。

元に戻りたい場合には『戻るボタン』を押します。



第12章 操作方法

☞ 表示の意味

5秒間に電波を受信した時間を%表示します。例えば5秒間に0.5秒間電波を検出した場合には10%と表示されます。

☞ 使用しているチャンネルのパーセンテージが大きい場合、パーセンテージが小さい推奨チャンネル(CH 1, 3, 5)への変更をお勧めします。

12.8.8.4. 自己診断

メニュー → 設定 → ツール → 自己診断

親機が正常に動作しているかを確認する機能です。

各項目を選択して『決定ボタン』を押すと、各項目の機能が確認できます。

『GPS1PPS』及び『GPS測位』の項目はGPS衛星からの電波を受信していないとNG判定となりますので、屋外の上空が開けた場所へ移動し、2分～3分程度待ってGPS衛星の受信状況が良好になってから実施してください。

『エラー情報表示』は、親機で異常が発生した場合の情報を表示するものです。販売店やメーカーなどに問い合わせする時に必要となる場合があります。

[自己診断]機能を選択してください。

GPS1PPS	合格
GPS測位	NG
電子コンパス	合格
SDカード空き容量	合格
無線機能確認 (ロックデテクト)	合格
エラー情報表示	

12.8.8.5. アップデート

メニュー → 設定 → ツール → アップデート

新しいソフトウェアがリリースされ、ソフトウェアのバージョンアップを行うときに使用します。

12.8.8.6. データ削除

メニュー → 設定 → ツール → データ削除

内部のデータを消去したい場合に使用します。

削除の対象は以下の通りです。

- ・システム設定値
- ・親機設定値
- ・子機設定値
- ・軌跡情報
- ・マーク情報

☞ 『軌跡データ作成／表示』で作成した軌跡ファイルや、『マーク情報バックアップ』および『バックアップ／復元』の機能で行ったバックアップは削除されません。



注意

データを消去しますので、実施前に『バックアップ』(42ページ)を行ってください。

12.8.8.7. 子機バージョン確認

メニュー → 設定 → ツール → 子機バージョン確認

子機のバージョンを確認します。

子機の電源がOFFの状態ですべてのボタンを5秒以上長押しし、子機の電源ランプが青色に高速に点滅する状態になると、画面に子機のバージョン情報が表示されます。

子機バージョンの確認を行います。
子機の電源ボタンを5秒以上押し下して下さい。



12.8.8.8. GPSリセット

メニュー → 設定 → ツール → GPSリセット

親機のGPS受信機能をリセットします。

親機の位置が大きくずれている場合、GPSリセットを使用することで位置を修正します。

「GPSのリセットを行います。よろしいですか?」と表示されますので、『はい』を選択して『決定』ボタンを押してください。

第12章 操作方法

- ☞ 『GPSリセット』は屋外の上空が開けた場所で実行してください。
- ☞ 『GPSリセット』を実行すると、約30秒～1分間GPSアイコンが『圏外』になります。

12.8.8.9. 電波送信OFFモード

メニュー

設定

ツール

電波送信OFFモード

親機の電波の送信をOFFにするモードです。

『電波送信OFFモード』をチェックすると、「一部機能が使用できなくなりますがよろしいですか?」と表示されますので、『はい』を選択します。

- ☞ 電波送信OFFモード中は中継機能や音声機能など、一部の機能が使用できなくなります。

12.9 パソコンとの接続方法

付属の充電ケーブルを使って、パソコンと親機を接続し、軌跡データやマーク情報のバックアップをダウンロードすることが可能です。

充電ケーブルをパソコンに接続する前に、必ず以下のことを行ってください。

- 『マーク情報バックアップ』(☞31ページ)
- 『軌跡データ作成』(☞57ページ)。
- 『充電モード』(☞41ページ)を『PC接続(500mA)』に設定。

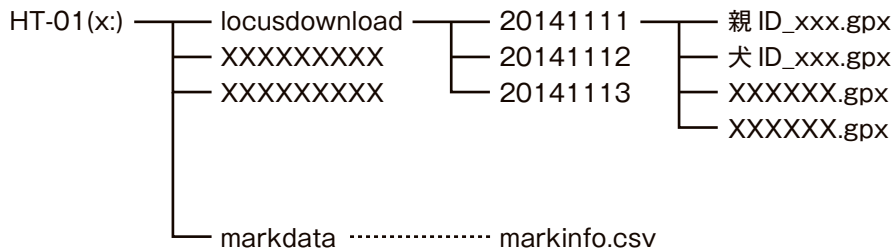
パソコンと接続すると、親機の表示部に、『USBストレージをONにする』と表示されますので『決定ボタン』を押します。すると、パソコンのエクスプローラから外部ストレージ(HT-01)として親機内部の記憶領域にアクセス可能となります。

親機内部の記憶領域は下の例に示すフォルダ構成となっています。

軌跡データは『locusdownload/YYYYMMDD/****.gpx』のpathに格納されています。

マーク情報のバックアップファイルは『markdata/markinfo.csv』のpathに格納されています。

【例】



第13章 お手入れ

製品が汚れたときは、乾いた布で拭いてください。

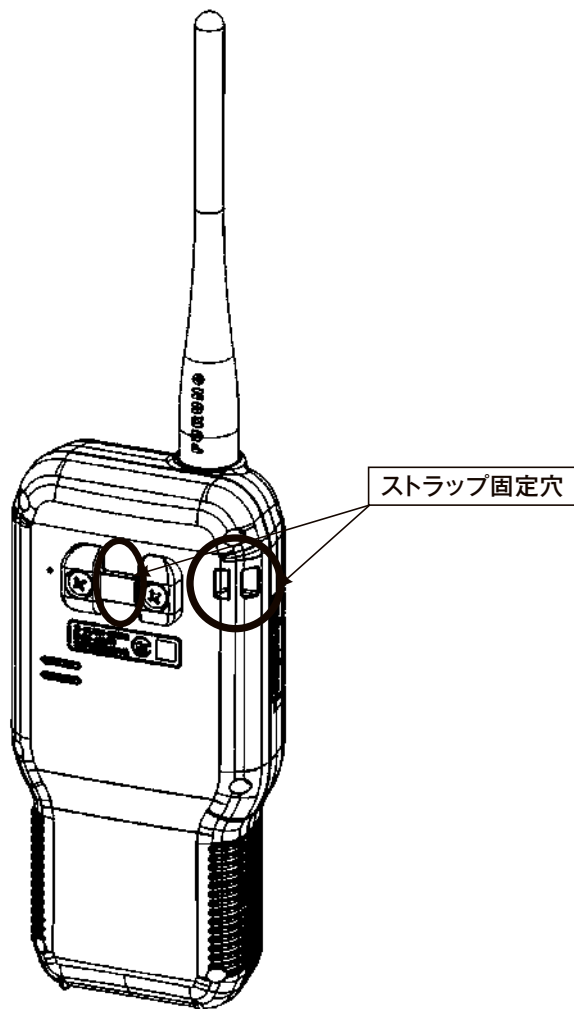
- 汚れがひどいときには中性洗剤を薄めた液を布にしみ込ませ拭き取り、乾いた布で仕上げてください。故意に水を掛ける行為は、浸水の原因となりますので、お止めください。
- シャンプー、ノミ取り剤、銃メンテナンス用溶剤等の有機溶剤がケースに付着すると亀裂・変色等が発生する場合があります。
- 本体の充電ジャックや、充電コネクタに汚れや水が付着すると、正常に使用できないことがあります。また錆の原因にもなりますので、乾いた布できれいに拭き取ってください。

第14章 付属品の取り扱い

付属品(ストラップ、アンテナ、ラジアル線)及び、それ以外の部品が故障した場合や、バッテリー交換をお求めの場合は、お買い上げいただきました販売店までお問い合わせください。

14.1. ストラップの交換

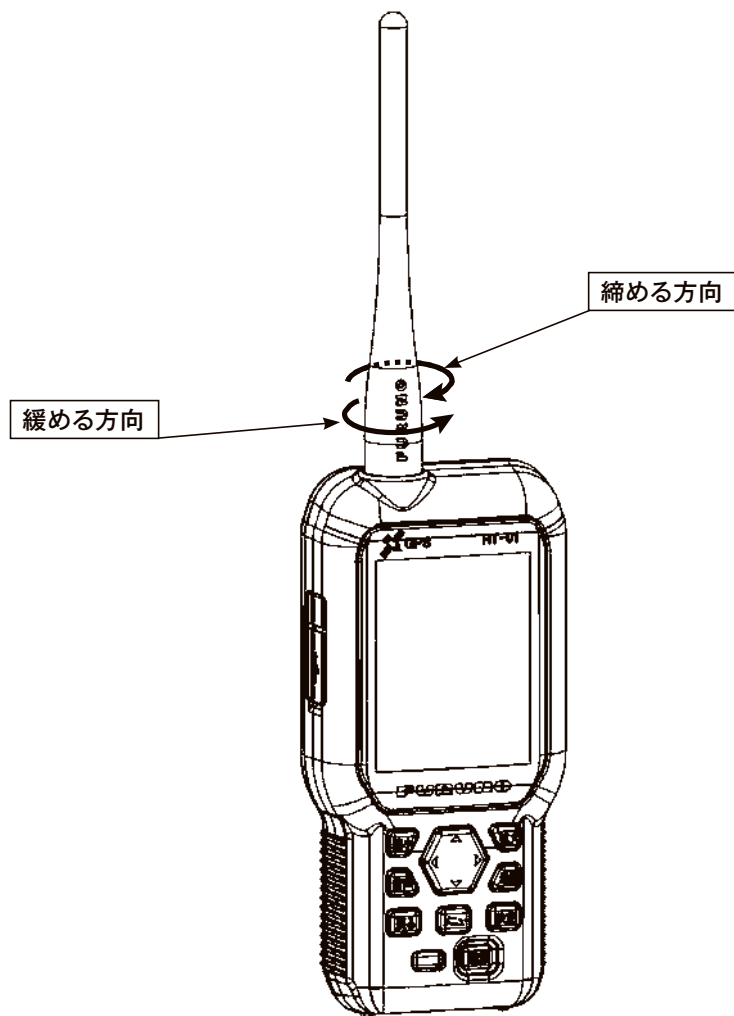
下図のどちらかの穴にストラップの紐を掛けてください。



第14章 付属品の取り扱い

14.2. アンテナの交換

下図のように、アンテナの根元を掴み、反時計回りに回して、取り外します。
新しいアンテナを時計回りに回して、しっかりと固定します。



14.3. ラジアル線、変換コネクタ、及びアンテナの取り付け方

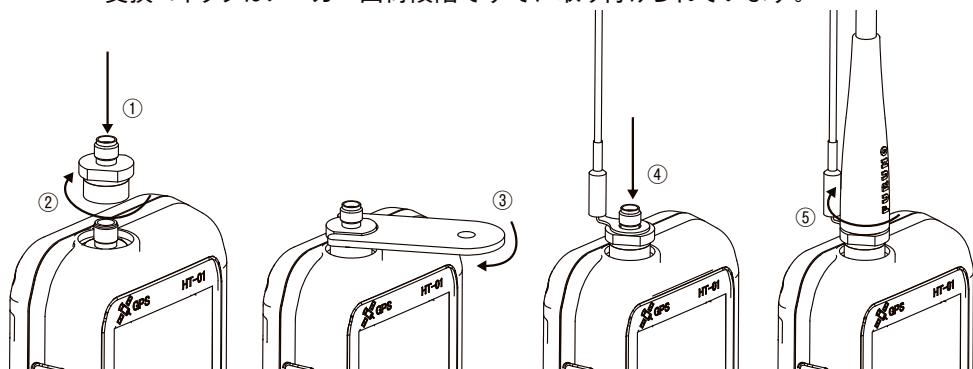
ラジアル線、及び変換コネクタを取り付けることで、通信性能が向上します。以下の手順に沿って取り付けてください。

- ① 変換コネクタを親機のコネクタに取り付けます。
- ② 変換コネクタを掴み、時計回りに手で軽く締めます。
- ③ スパナを使って、変換コネクタを時計回りに締めます。



注意 付属のスパナを使って、2kgf以下の力で締めてください。必要以上の力で締めたり、付属のスパナ以外を使用されると故障の原因となりますのでご注意ください。

- ④ ラジアル線を図の向きで変換コネクタにはめ込みます。
- ⑤ アンテナの根元を掴み、時計回りに回して、しっかりと固定します。
 - ☞ 標準アンテナ、ロングアンテナともに取り付け可能です。
 - ☞ ラジアル線の端子と変換コネクタが密着していることを確認してください。密着していない場合は、通信性能が劣化する恐れがあります。
 - ☞ 変換コネクタはメーカー出荷段階ですでに取り付けられています。

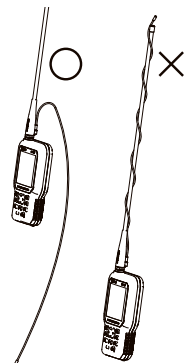


14.4. ラジアル線、変換コネクタ、及びアンテナの取り外し方

取り付けと反対の手順に沿って取り外してください。

■ 高性能アンテナセット取り扱い上の注意

ラジアル線は右図のように垂れ下げた状態で使用してください。親機やアンテナにラジアル線を巻きつけたりすると、通信性能が劣化します。ロングアンテナやラジアル線を使用される場合は、引っ掛かりなどによる破損にご注意ください。また、引っ掛かりによる機器の落下や破損を防ぐためにもストラップを着用してください。



第15章 困った時は

15.1. 操作に迷った時は

操作に迷った時には『地図ボタン』を押して地図画面に戻ってください。

地図画面は電源ON直後の基本となる画面ですので、地図画面から再度操作を行ってください。

15.2. 動作が不安定な時は

下に示すような現象が発生した場合には、このページの『強制リセット』を行ってください。

●LEDが緑点灯しているときに、何れかのボタンを押しても表示部が真っ暗な状態である。

又は、表示されるまでの時間が極端に遅い。

●操作を行っている時に画面の切替時間が極端に遅い。

●電源をOFFにできない。

●画面がフリーズする。

■強制リセット

LEDランプの緑点灯が消えるまで、『電源ボタン』を12秒以上押し続けてください。途中で『電源を切る』が表示されても、そのまま『電源ボタン』を押し続けてください。この操作により、親機が強制的に再起動されます。

また、下に示すような現象が発生した場合には、次ページの『システムリカバリ』を行ってください。

- a. 特定のボタンがきかない。
- b. FURUNOロゴから起動しない。
- c. 自動的に再起動を繰り返す。

■システムリカバリ

●電源をOFFにできる場合 (a. の場合)

①電源をOFFにしてください。

②任意のボタンを2つ押しながら、『電源ボタン』を押して、画面に『システムリカバリ中』の文字が表示されたら、すべてのボタンをはなしてください。

●電源をOFFにできない場合 (b. c. の場合)

①『電源ボタン』を長押しして、LEDランプが消えたら、任意のボタンを2つ同時に押します。

②『電源ボタン』のみはなしてください。

③画面に『システムリカバリ中』の文字が表示されたら、すべてのボタンをはなしてください。

☞『システムリカバリ』を行うと、通常よりも、立ち上げに時間がかかります。(約1分)

☞『システムリカバリ』の操作では、登録情報や軌跡データ等は削除されません。

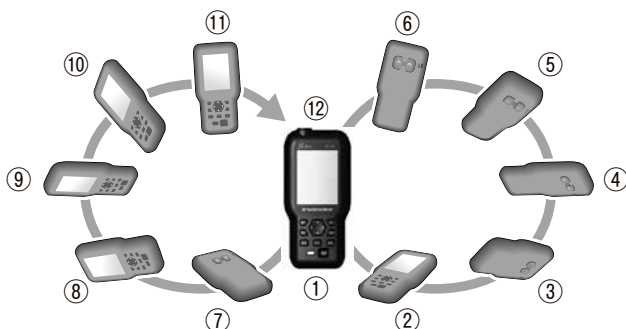
システムリカバリ中

15.3. 方位が正しくない時は

下に示すような現象が発生した場合には、下図のように親機を8の字を描くように回してください。

- コンパス表示もしくは自分の向いている方向が間違っ表示されている場合。
- 『コンパスアイコンの説明』(☞11ページ)のように、コンパスアイコンの周囲が「黄色」や「赤色」で表示されている場合。

☞磁気を帯びた物や金属の近く(車の中など)では、方位を正しく示さない場合がありますので、周囲にそのようなものがない環境で行ってください。



15.4. 不要になった際にはリサイクルへ

本製品は充電式電池を内蔵しています。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するため、不要になった機器は販売店へお渡しください。

15.5. 充電が開始されない

充電器を接続しても画面が継続して点滅状態になり、充電が開始されない場合には充電器の抜き差しを行ってください。

それでも充電が開始されない場合は、以下の操作を行ってください。

- 画面が点滅した状態で電源ボタンを15秒以上押ししてください。
 - ・12秒程度で画面の点滅が消えますが、そのまま3~5秒程度押し続けてください。
 - ・LEDが赤色に点滅し、充電が開始されます。
- ☞親機を1年以上使用していない場合や、電池残量が低下している状態で保管された場合、電池が過放電の状態になり上記現象が発生する場合があります。長期間保管する場合は、充電を行った後保管してください。

第16章 著作権等

16.1. 本製品に使用されているソフトウェアについて

本製品には以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) 古野電気株式会社により開発されたソフトウェア
- (2) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2 (GPL v2)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL v2.1)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) その他 オープンソフトウェア

お客様は、GPL v2、LGPL及びその他のオープンソフトウェアに基づきライセンスされたソフトウェアについては、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、複製、頒布及び改変することができます。

ソースコードの入手方法は、当社Web(https://www.furuno.co.jp/contact/cnt_oss02.html)をご参照下さい。

16.2. 地図

地図使用承認©昭文社第 57G026 号

16.2.1. 著作権

本製品に組み込まれている地図ソフトウェアの一部、及び地図データの著作権その他の知的財産権及び所有権その他の権利は、株式会社昭文社に帰属し、著作権法及び知的財産権法その他の法律ならびに条約によって保護されています。

16.2.2. 使用許諾

本製品をお買い上げになったお客様は、本製品上で地図を使用する場合には何ら制限を受けるものではありません。

16.2.3. 制限事項

- ・本製品に組み込まれている地図データ、地図ソフトウェアの一部、または関連情報について、転記、抽出、公衆送信(送信可能化を含みます。)及び改変・翻案等は一切できません。
- ・お客様は、本製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブル、その他いかなる解析や分析もすることはできません。

16.2.4. 免責事項

お客様が本製品に組み込まれている地図を使用、または使用不能の結果として生じたいかなる損害についても、その責を負うものではありません。

16.2.5. 使用承認番号

本製品に組み込まれている地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用しています(承認番号平27情史、第161号)。

16.3. イラスト等

本書のイラスト等の一部は、Google Inc.が作成、提供しているコンテンツをベースに変更したもので、クリエイティブ・コモンズの表示3.0ライセンスに記載の条件に従って使用しています。

16.4. 商標について

Android、GoogleおよびGoogle EarthはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
Dog Navi／ドッグ ナビ は古野電気株式会社の商標です。
本取扱説明書に記載されている社名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。

製品仕様

- 無線規格：特定小電力無線 ARIB STD-T99準拠(免許不要)
電波出力：1W
周波数：142.940MHz(1ch)
142.950MHz(2ch)
142.960MHz(3ch)
142.970MHz(4ch)
142.980MHz(5ch)
- 伝達情報：猟犬の位置、音声^{※1}
表示方法：地図表示、方位表示
地図：日本全国版
複数犬対応：最大15頭
温度・湿度範囲：【動作時】-10℃~+50℃ 【保存時】-20℃~+60℃
【充電時】0℃~+40℃
相対湿度:20~90%以下、但し結露無きこと
- 電源：リチウムイオン2次電池(充電方式)
画面サイズ：2.7インチ 240 ×320 pixel
位置の更新周期：5秒
連続使用時間：8時間^{※2}
外形寸法：W67mm × D31.5mm × H140mm(突起部含まず)
質量：270g(本体のみ)
防水構造：IPX5
インターフェイス：Micro-USBコネクタ(充電、PC接続用)
基本ソフトウェア：Android 2.3.7
付属品：アンテナ、充電器、USBケーブル、ストラップ、取扱説明書
- ※1 複数の狩猟者端末で共有可能な情報は位置情報のみ
※2 音声通信なし、25℃、スリープ機能を使用

Q&A

- Q 動作が不安定である。
- A 機器が不安定な状態になっている可能性があります。
『強制リセット』(P.67ページ)を行ってください。
P.67『強制リセット』でも復旧しないときは、『システムリカバリ』
(P.67ページ)を行ってください。
- Q 犬アイコンが表示されない。
- A 以下の事項を確認してください。
●親機と子機の周波数は一致しているか。
●親機に子機が登録されているか。
●親機、子機ともにGPSを測位しているか。
●親機と子機の距離は通信可能な距離か。
●親機と子機の間に電波を遮蔽する物はないか。
●子機の電池残量は十分か。
●子機の電源はONしているか。
●子機が登録モードになっていないか。
●同じ周波数の電波が別機器から発信されていないか。
- Q 音声切替ができない。
- A 以下の事項を確認してください。
●子機は迷い犬『?マーク』になっていないか。
●子機および、親機の電池残量は十分か。
●子機のGPS測位状態は良好か。
●子機から受信する電波の強度は良好か。
●子機の電波状態が『中継』になっていないか。
●子機または、親機を充電中に使用していないか。
●子機または、親機の近くに、同じチャンネル、もしくは、隣接したチャンネルを使用した無線機がないか。
●ノイズの多い環境で使用していないか。
- Q 電源ボタンを押してもLEDランプが点灯しない。
- A 電池の残量ゼロになっていませんか。
充電を行ってください。
- Q 電源ボタンを押してもLEDランプが橙色または赤色で点滅して起動しない。
- A 電池残量が非常に少ない場合に5分～10分程度この状態となります。
充電をしたらましましばらくお待ちください。
- Q 音声途切れやすい。
- A 高温環境で音声機能を使用した場合、子機の温度上昇による保護機能が働き、音声途切れやすくなる場合があります。時間を置いて再度音声接続をしてください。
- Q タイムスロットとは。
- A 子機が位置情報を送信するタイミングのことを指します。同一周波数、同一タイムスロットの子機が複数台近くにあると、電波の競合を起こしてしまい、親機と通信できなくなる原因となります。
一台の親機に対して複数の子機を登録するときは、タイムスロットは自動的に重複されないようになっているため、電波の競合は発生しません。
- Q しばらくしても、軌跡が表示されない。
- A 以下の事項を確認してください。
●軌跡表示時間が設定されているか。
親機の軌跡が表示されない。(P.34ページを参照してください。)
子機の軌跡が表示されない。(P.34ページを参照してください。)
●軌跡非表示モードになっていないか。
(P.67地図画面において、『戻るボタン』を長押しすることで、表示／非表示が切り替わります。)

memo

A series of horizontal dotted lines for writing.



保証書とアフターサービス

保証規定（よくお読みください）

- 保証期間内であっても次のような場合には有償交換となります。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - お買い上げ年月日、販売店の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合。
 - 製品に製造番号が添付されていない場合、又は保証書に明記されている管理番号と製品の管理番号が一致しない場合。
 - お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取扱いが不適切なため生じた故障及び損傷。
 - 製品の変形や破損（防水膜、コネクタパッキンの破損も含む）により生じる浸水、塵埃の侵入、及び故障。
 - 使用上の誤り、及び対象製品の分解、改造、部品交換、調整、取り外しをされた場合。
 - 地震、落雷、風水害などの天災、火災や異常電圧及び交通事故による故障及び損傷。
 - 保守部品（ストラップ、アンテナ、ラジアル線）の故障及び損傷。
 - 純正部品以外を取り付けて使用した場合。
 - 筐体（画面、スイッチ、コネクタ、LEDなど含む）の破損。
 - 犬、イノシシなど動物の咬みつき等による破損。
 - LCD（液晶ディスプレイ）の画面一部の画素の欠け、常時非点灯、及び常時点灯など。
 - その他、自己責任による破損または故障。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書を紛失した場合は、再発行いたしませんので大切に保管ください。
※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて有償での交換をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理・交換などにつきご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障、修理、その他お取り扱いによって、設定内容や保存データなどが消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益については一切責任を負いません。

古野電気 Dog Navi 保証書

お客様へ

このたびはお買い求めいただきました **Dog Navi** について、本保証書に記載した期間内に製造上に起因する故障が生じた場合、無償（送料はお客様負担）で修理又は交換致します。
保証期間内でも有償となる場合がありますので、上記の保証規定をよくお読みください。

型番	狩猟者端末 HT-01	管理ラベル	
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より ヶ月
お客様様	フリガナ お名前	様	
	TEL ()		
	〒 ご住所		
販売店	住所・店名		
	TEL ()		

お問い合わせは上記販売店まで